

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																																
修成建設専門学校	昭和51年4月1日	堤下隆司	〒555-0032 大阪府大阪市西淀川区大和田5-19-30 (電話) 06-6474-1644																																
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																																
学校法人修成学園	昭和51年4月1日	山下裕貴	〒555-0032 大阪府大阪市西淀川区大和田5-19-30 (電話) 06-6474-1644																																
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士																														
工業	工業専門課程	第1本科(昼) 建築学科		平成6年文部省 告示第84号	なし																														
学科の目的	建築の仕事は設計(意匠、構造、設備)・施工・積算など多種多様な業種で成り立っており、必要な資格も多岐にわたる。そのどれが不足してもよい建築は生まれにくい。建築物を造るということはすべての仕事を理解し、その一翼を担うことである。そのうえで新しい技術や課題に対応でき、実践的かつ専門的な知識および技術を有する創造的な人材が建築業界では求められている。 本学科は建築に対する興味や技術的関心、倫理観や向上心と自立心に支えられた建築技術者を育成するため、講義をはじめ、材料実験・実習・設計演習・卒業設計などのカリキュラム編成に加え、早期からインターンシップ、オープンデスク等による密接な企業連携を図り、的確な卒業後の進路決定ができる環境を充実させ、ミスマッチのない進路決定を目指す。																																		
認定年月日	平成26年3月31日																																		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																												
2年	昼間	1728時間	1527時間	777時間	304時間	時間	時間																												
単位時間																																			
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内数)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																														
360人	455人	29人	13人	16人	29人																														
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日		成績評価	■成績表：有 ■成績評価の基準・方法 授業の出席、課題提出、平常・定期試験などから総合的に評価																															
長期休み	■学年始め：4月1日～4月8日 ■夏季：8月8日～8月16日(令和2年度のみ) ■冬季：12月23日～1月7日 ■学年末：3月26日～3月31日		卒業・進級 条件	3分の2以上の出席。 進級に必要な単位の修得。 卒業に必要な単位の修得。																															
学修支援等	■クラス担任制：有 ■個別相談・指導等の対応 長期欠席者への指導等の対応 本人・保護者に電話または郵送にて指導		課外活動	■課外活動の種類 西淀川ものづくりまつり、修成祭、体育大会、卒業展、見学会 建築倶楽部、町屋探偵団、土木研究会、ガーデニングクラブ、コンペ部、 建築サイエンス部、設計塾																															
就職等の 状況※2	■主な就職先、業界等(令和元年度卒業生) 鹿島建設(株)、大和ハウス工業(株)、住友不動産(株)、中野積算(株)、(株)コンパス建築工房、TSP太陽(株)、大鉄工業(株)		主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■サークル活動：有 ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和元年度卒業生に関する令和2年5月1日時点の情報)																															
	■就職指導内容 進路に関する就職、進学、大学編入などの進路支援活動を組織的な体制で行っている。キャリアデザインの相談、エントリーシートの書き方、個人面談や面接指導等におけるキャリアサポート支援は全学体制で望んでいる。			<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>福祉住環境コーディネーター検定2級</td> <td>③</td> <td>114</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>建築CAD検定(2級)</td> <td>③</td> <td>5</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>カラーコーディネーター(2級)</td> <td>③</td> <td>16</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>宅地建物取引士</td> <td>③</td> <td>47</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>建築積算士補</td> <td>③</td> <td>56</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>2級建築施工管理技術検定試験(学科)</td> <td>※③</td> <td>73</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table>				資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	福祉住環境コーディネーター検定2級	③	114	20	建築CAD検定(2級)	③	5	2	カラーコーディネーター(2級)	③	16	5	宅地建物取引士	③	47	7	建築積算士補	③	56	47	2級建築施工管理技術検定試験(学科)	※③	73	16
	資格・検定名	種別		受験者数	合格者数																														
	福祉住環境コーディネーター検定2級	③		114	20																														
建築CAD検定(2級)	③	5	2																																
カラーコーディネーター(2級)	③	16	5																																
宅地建物取引士	③	47	7																																
建築積算士補	③	56	47																																
2級建築施工管理技術検定試験(学科)	※③	73	16																																
■卒業者数：168人 ■就職希望者数：107人 ■就職者数：106人 ■就職率：99.1% ■卒業者に占める就職者の割合：63.1%		※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)																																	
■その他 進学 大学編入：12人 専科2級建築士科：49人		■自由記述欄 ※建築施工管理技術検定2級学科試験は、国家資格・検定のうち、最終学年または高等学校で該当する専門教育を受けたものが、学科のみ受験可能である。																																	
(令和1年度卒業生に関する 令和2年5月1日時点の情報)		26名		■中退率		6.8%																													
中途退学の 現状	■中途退学者 平成31年4月1日時点において、在学者383名(平成31年4月1日入学者を含む) 令和2年3月31日時点において、在学者357名(令和2年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 家庭の事情、進路変更、一身上の都合 ■中退防止・中退者支援のための取組 担任指導や教員連絡会での情報共有。専門カウンセラーによる面談。																																		

経済的支援制度	<p>■学校独自の奨学金・授業料等減免制度：有 特待生制度（建設分野のコンクール等受賞、成績優秀者）、授業料減免制度（生活保護世帯、市町村民税所得割額が非課税、家計急変など） 創立110周年記念奨学金、修成建設専門学校緊急奨学金</p> <p>■専門実践教育訓練給付：非給付対象</p>
第三者による学校評価	<p>■民間の評価機関等から第三者評価：有 評価団体：一般社団法人 専門職高等教育質保証機構 受審年月：2018年2月 評価結果を掲載したホームページURL：http://qaphe.com/wp-content/uploads/2017techgraduatesyusei.pdf</p>
当該学科のホームページURL	<p>https://www.syusei.ac.jp/course/dept_architecture.html</p>

（留意事項）

1. 公表年月日（※1）

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況（※2）

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて（通知）（25文科生第596号）」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

（1）「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員（雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいいます。

※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

（2）「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う）。

（3）上記のほか、「就職者数（関連分野）」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果（※3）

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他（民間検定等）の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果（例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等）について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1) 教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

企業等の要請を十分に生かしつつ職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成するため、教育課程の編成において、当該企業等との密接な連携により、より実践的な職業教育の質の確保のため組織的に取り組む。

(2) 教育課程編成委員会等の位置付け

委員会は、次の各号に掲げる事項を審議し、本校の職業教育の質の確保を目指す。

- (1) 就職先の業界における人材の専門性に関する動向の把握・分析
- (2) 国又は地域の産業振興の方向性の把握・分析
- (3) 新産業の成長に伴い新たに必要となる実務に関する知識・技術・技能など把握・分析
- (4) 本校の教育が、企業等の要請等を十分に生かした実践的かつ専門的な能力を育成する職業教育が実施できる教育課程の編成
- (5) その他、カリキュラムに関し必要なこと

委員会での審議結果を各学科長、副科長が中心となり教育課程に反映し、校長が決定する。

学校法人修成学園 組織図は、https://www.syusei.ac.jp/jyoho/organization_location.htmlを参照

(3) 教育課程編成委員会等の全委員の名簿

2020年4月1日現在

名 前	所 属	任 期	種 別
田中 義久	大阪府建築士会副会長 株式会社 田中都市建築設計事務所 代表取締役社長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	①
辻 裕樹	大阪府建築士事務所協会 副会長 株式会社匠設計 代表取締役	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	①
井上 久実	日本建築家協会協会 近畿支部 支部長 井上久実設計室 代表	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	①
東 泰紀	公益社団法人 日本建築積算協会 関西支部	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	①
倉方 俊輔	修成建設専門学校教育顧問 大阪市立大学大学院工学研究科准教授	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	②
佐藤 栄一	一般社団法人 日本建築材料協会 常務理事・事務局長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	②
小松原 学	職業訓練法人 全国建設産業教育訓練協会 富士教育訓練センター 校長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	②
大上 哲男	公益財団法人 堺市公園協会 課長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	②
西濱 浩次	修成建設専門学校教育顧問 株式会社コンパス建築工房 代表取締役	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
鍵山 昌信	修成建設専門学校 建築学科教育アドバイザー ア・ティエス環境+建築設計事務所	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
中村 裕輔	一般社団法人日本賞環境デザイン協会 理事 関西支部長 株式会社乃村巧藝社 中部支店クリエイティブ部 部長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
坂入 喜代枝	コーナン建設株式会社 執行役員 人事部長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
市岡 武	村本建設株式会社 取締役常務執行役員	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
壺山 和之	壺山建設株式会社 代表取締役	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
小島 章	株式会社 竹中土木大阪本店 技術・設計部 技術グループ リーダー部長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
富山 毅	株式会社 橋梁コンサルタント 西日本支社長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
楨村 吉高	株式会社 荒木造園設計 部長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
村松 雄一郎	株式會社 オオバ 大阪支店 まちづくり部 設計課 課長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
森本 和真	株式会社 森本庭園 造園部	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
山下 裕貴	学校法人修成学園 理事長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	

堤下 隆司	修成建設専門学校 校長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
見邨 佳朗	修成建設専門学校 副校長 建築CGデザイン学科科長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
谷川 博康	修成建設専門学校 学生相談室室長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
増田 和浩	修成建設専門学校 建築学科科長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
鍵谷 啓太	修成建設専門学校 空間デザイン学科科長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
釜友 知世子	修成建設専門学校 専科2級建築士科科長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
樋下 昌俊	修成建設専門学校 住環境リノベーション学科科長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
野瀬 孝男	修成建設専門学校 土木工学科・建設エンジニア学科科長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
明石 祥子	修成建設専門学校 ガーデンデザイン学科科長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
上杉 敬史	修成建設専門学校 進路係長	2020年4月1日～2021年3月31日 (1年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4) 教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(開催日時)

①年間開催回数：2回 ②開催時期：10月及び2月 ③平成25年度から計14回開催

第13回 2019年10月3日18:00～20:00

第14回 2020年2月5日18:00～20:30

(5) 教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

意見や提案等は、学科長、科目主任を中心に教育課程全体の効果やスケジュールを明確にしている。資格試験への受験機会を広げた。成功体験を積み重ねることで学習意欲を高め、さらに上位資格へのチャレンジへとスキルアップにつなげていく。就職活動時からミスマッチが起こらないよう指導と共にインターンシップへの積極的な参加を促した。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する知識、技術、技能を習得・向上するとともに、授業及び学生に対する指導力等の向上を目標としている。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

建設会社の工事現場見学・住宅現場の見学・キャタピラ教習所による資格取得

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
建築製図	製図の基礎、木造、木造3階建住宅、鉄骨造、鉄筋コンクリート造	建築設計事務所SAI工房 他
建築実験実習	セメント、骨材、コンクリート、鉄筋、木材、ボルト接合の材料力学性能	日本建築材料協会 他
建築構造力学・同演習	一般事項、力の釣合条件、静定構造物の応力、部材応力と変形、静定構造物の変形、不静定構造物の解法	ア・ティエス環境+建築設計事務所他
建築積算学・同演習	建築工事に必要な直接工事費、間接工事費の算出方法	日本建築積算協会 他
建築設計製図	各科目で学習した知識を応用して、設計に必要な考察力及び、設計図書作成に必要な能力を養う	ミムラ建築計画工房 他

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針
 「学校法人修成学園就業規則 第9章 第59条」の研修義務に基づき、企業等から講師を招き教員に対し実務に関する知識、技術、工法などについて校内で実施する教育研修会、各種団体等が開催する研修会・セミナーの活用、大学等の教育機関での研修・研究会等で、職業に関連した実務に関する知識、技術及び工法ならび教授法、指導力、キャリア支援教育等、向上のための研修会等に積極的に受講させる。

(2) 研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

期間	主催者	研修内容	対象	参加
6月17日	(一社)日本建築材料協会	建築材料・住宅設備総合展 KENTEN2019	教員	2
6月22日	修成建設専門学校 GATUNクラブ	明治村研修見学会	教員	2
6月25日	(一社)大阪府建築士事務所協会	第4支部研修会	教員	2
7月6日	大阪府左官工業組合	左官実技・学科講習会	教員	1
7月6日	公益社団法人 竹中大工道具館	研修見学	教員	1
7月30日	株式会社今西組	研修会と見学会	教員	3
10月27日	生きた建築ミュージアム	見学	教員	1

②指導力の修得・向上のための研修等

期間	主催者	研修内容	対象	参加
6月17日	大阪市企業人権推進協議会	人権啓発基礎講座	教員	1
8月6日	東京未来大学	教育現場におけるモチベーション 対人コミュニケーションの理解と促進	教員	1
9月18日	大阪市企業人権推進協議会	令和元年度「経営層人権啓発講座」	教員	1
7月13日	学校法人修成学園	高等教育の無償化（修学支援新制度）について	教職員	48
9月21日	学校法人修成学園	外部講師による研修会「Z世代に向けた教育手法とは」	教職員	48
10月5日	全国工業専門学校協会	令和元年度「学生成果報告会」	教員	4
10月28日	キャリアサポートOfficeAOKI	教職員のための指導力向上講座	職員	2
10月30日	大阪府建築士事務所協会	ハラスメント問題の基本的理解と発生防止	教職員	2
10月28日	(一社)大阪府専修学校各種学校連合会	活力のあるクラスづくりのための指導力向上講座	職員	2
11月3日	日本産業カウンセラー協会	事例に学ぶ発達障害の理解と対応	教員	1
11月2日	日本産業カウンセラー協会	メンタルヘルスの理解と対応	教員	1
12月7日	東京未来大学（文部科学省委託事業）	学校を巡る近年の状況と法令改正及び国の動向	教員	1
1月7日	修成建設専門学校	教員研修発表会	教員	40
1月29日	大阪市企業人権推進協議会	労務・人権啓発講座ブロックD	教員	1
2月18日	大阪市企業人権推進協議会	労務・人権啓発講座ブロックE	教員	1

(3) 研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

主催：全国専門学校建築養育連絡協議会 内容：総会・研修会
 主催：一般社団法人大阪府建築士事務所協会 研修会・意見交換会
 主催：公益社団法人大阪府建築士会 研修会・意見交換会

②指導力の修得・向上のための研修等

主催：修成建設専門学校 教員研修発表会
 主催：学校法人修成学園 教職員研修会
 主催：大阪府専修学校各種学校連合会 人権教育研修会
 主催：大阪府専修学校各種学校連合会 新任教員研修会

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

委員会が、自己評価の結果に基づいて行う学校関係者評価の実施とその結果を公表することにより、適切に説明責任を果たすとともに、学校関係者等から理解と参画を得て、地域におけるステークホルダーと専修学校との連携協力による特色のある学校づくりを進める。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	基準1 教育理念・目標・育成人材像
(2) 学校運営	基準2 学校運営
(3) 教育活動	基準3 教育活動
(4) 学修成果	基準4 学修成果
(5) 学生支援	基準5 学生支援
(6) 教育環境	基準6 教育環境
(7) 学生の受入れ募集	基準7 学生の募集と受け入れ
(8) 財務	基準8 財務
(9) 法令等の遵守	基準9 法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	基準10 社会貢献
(11) 国際交流	基準10 社会貢献

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

離職対策としてインターンシップの体制強化。インターンシップ先企業の選定および新規開拓の実施。
自然災害から学生・教職員を守るための安全管理、危機管理マニュアルの見直しを行った。
建設関連の業界団体などから、優れた教員の補充を行った。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

2019年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
奥田 祐司	在校生の保護者	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	保護者
丸山 徹	卒業生の保護者	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	保護者
相賀 勝	元吹田市役所 理事	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	団体役員
藤田 晴樹	株式会社ジェイネット 代表取締役	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	企業等委員
山崎 充	浅川道路株式会社 代表取締役	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	企業等委員
大槻 憲章	おおさか緑と樹木の診断協会 理事	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	企業等委員
田中 文雄	大和田連合振興町会長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	地域役員
大和 正	学校法人興国学園 興國高等学校 教頭	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	教育関係者
苅野 起三子	修成学園 評議員	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	学園関係者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ 毎年2月下旬)

URL:<https://www.syusei.ac.jp/jyoho/index.html>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校の概要、目標及び計画や学科の教育をはじめとする様々な情報をホームページだけでなく学校案内、募集要項、求人パンフレット等の刊行物により積極的に公開することとする。
教育課程編成委員会学ならび校関係者評価委員会にも配布・公開し、理解と助言を求めている。教育の質保証、教育の見える化を図ることを基本方針とする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の概要、人材育成像、育成計画
(2) 各学科等の教育	学科の教育
(3) 教職員	組織及び教職員の状況
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育、実践的職業教育
(5) 様々な教育活動・教育環境	様々な教育活動・教育環境
(6) 学生の生活支援	学生の生活支援
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金・修学支援
(8) 学校の財務	学校の財務
(9) 学校評価	学校評価
(10) 国際連携の状況	様々な教育活動・教育環境
(11) その他	その他

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

URL:<https://www.syusei.ac.jp/jyoho/index.html>

授業科目等の概要

(工業専門課程 建築学科) 2020年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			建築製図	製図の基礎、木造、鉄骨造、鉄筋コンクリート造	1	192	5			○	○		○	○	○
○			建築設計製図	各種建築物の計画・設計	2	192	6		○		○		○		○
○			CAD設計製図	基本設計図を基に実施設計図書、施工図をCAD作成	2	64	2		○		○		○	○	○
○			建築計画学	設計に必要な、住居建築物の計画、特定建築物の計画	1	64	4	○			○		○		
○			建築歴史	建築の発生から発展、構造・様式などの歴史を通じて学生が建築技術者として必要な常識を養う	1	64	4	○			○		○		
○			建築環境工学	環境工学概要、日照と日射、室内熱環境、室内空気環境、室内照明環境、室内音環境	2	64	4	○			○		○		
○			建築設備工学	給排水設備、衛生設備、室内調和設備、電気設備	2	64	4	○			○		○	○	○
○			建築構造力学・同演習	一般事項、力の釣合条件、静定骨組の応力、部材応力と変形、静定骨組の変形、不静定構造物の解法	1	128	6	○	△		○		○		○
○			建築一般構造学	各種構造の地震や台風等に対処する仕組、構成を学ぶ	1	64	4	○			○		○		
○			建築材料学	建築に使用する素材別材料、用途別材料	1	64	4	○			○		○		○

○		建築実験実習	セメント、骨材、コンクリート、鉄筋、木材、ボルト接合の材料力学性能	1	32	1			○	○		○		○
○		建築施工	建築工事の請負制度、契約および工事全般	1	64	4	○			○		○		
○		建築積算学・同演習	建築工事に必要な直接工事費、間接工事費の算出方法	2	64	2	○	△		○		○		○
○		建築法規	建築基準法の単体・集団規定、制度規定、関連法規	2	64	4	○			○		○		
○		情報処理・同演習	オフィスソフト、CADソフトの活用	1	64	2	△	○		○		○		○
○		建築総論	二級建築士・2級建築施工管理技士要請講座	2	64	3	○	△		○		○		
○		卒業設計	2年間の学習成果を製作する構造コース、意匠設計コース、意匠コース、基本設計コース、積算コース、景観まじづくりコース	2	64	4	○			○		○		
○		建築設計演習	建築意匠の基礎技能、意匠を形成するエレメント	2	64	2	△	○		○		○		○
○		意匠模型演習	設計図書を模型制作により表現	1	128	4		○		○		○		○
○		グラフィックⅠ	CADソフトを基本にプレゼン方法	2	32	1	△	○		○		○		
○		グラフィックⅡ	ポートフォリオ作成	2	32	1	△	○		○		○		
○		木造演習	木造建築物の仕組、仕口	1	32	1		○		○		○		
○		構造設計	各種構造の構造設計、耐震設計	2	128	4		○		○		○		
○		福祉住環境	福祉住環境コーディネーター資格取得対策	1	64	4	○			○		○		

○	不動産	宅地建物取引主任者資格取得対策	1	64	4	○			○			○
○	法学	民法など社会人等に必要な常識を学ぶ	2	32	2	○			○			○
○	色彩学Ⅰ	色の組み合わせの法則	2	32	2	○			○		○	
○	色彩学Ⅱ	カラーコーディネーター資格取得対策	2	32	2	○			○		○	
○	環境社会学	二酸化炭素抑制方法、ECO検定資格取得対策	2	32	2	○			○		○	
○	建設ビジネス学	技術者に必要なコミュニケーション、ビジネス文書作成	1	32	2	○			○			○
○	建築測量学	測量士補対策	1	32	2	○			○		○	
○	建築総論	二級建築士・2級建築施工管理技士養成講座	2	64	3	○	△		○		○	
○	ワークショップⅠ	建設業に必要な事柄を企業や設計者を招き実務教育を行う	1	32	1	○	△		○		○	
○	ワークショップⅡ	企業や団体・機関などでインターシップ等を経験する	2	32	1	○	△		○		○	
○	企業実習Ⅰ	企業や団体・機関など実際の職場で働く模擬体験をする	2	40	1				○	○		○
○	企業実習Ⅱ	企業や団体・機関など実際の職場で働く模擬体験をする	2	40	1				○	○		○
	○	微分積分学Ⅰ	微分法、不定積分法	2	32	2	○			○		○
	○	微分積分学Ⅱ	微分方程式、定積分、大学編入対策講座	2	32	2	○			○		○

		○	応用数学Ⅰ	解析幾何学、代数学	2	32	2	○				○			○
		○	応用数学Ⅱ	方程式の解法、計算法、工学の応用演習	1	32	2	○				○			○
		○	物理学Ⅰ	質点と剛体の力学、変形体の力	2	32	2	○				○			○
		○	物理学Ⅱ	大学編入対策講座	1	32	2	○				○			○
		○	線形代数Ⅰ	マトリックス方程式、行列	2	32	2	○				○			○
		○	線形代数Ⅱ	工学への応用演習、大学編入対策講座	2	32	2	○				○			○
		○	工業英語Ⅰ	英文法、英文構造	1	32	2	○				○			○
		○	工業英語Ⅱ	英文法、英文構造の応用	1	32	2	○				○			○
		○	工業英語Ⅲ	工業英語文書、営業・契約文書の公式文書	2	32	2	○				○			○
合計				科目	2608単位時間(123単位)										
卒業要件及び履修方法								授業期間等							
3分の2以上の出席。進級に必要な単位の修得。卒業に必要な単位の修得。								1学年の学期区分				2期			
								1学期の授業期間				16週			

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																																				
修成建設専門学校	昭和51年4月1日	堤下隆司	〒555-0032 大阪府大阪市西淀川区大和田5-19-30 (電話) 06-6474-1644																																				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																																				
学校法人修成学園	昭和51年4月1日	山下裕貴	〒555-0032 大阪府大阪市西淀川区大和田5-19-30 (電話) 06-6474-1644																																				
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																																			
工業	工業専門課程	第1本科(昼)建築CGデザイン学科	平成6年文部省 告示第84号	なし																																			
学科の目的	人間の生活空間を作り上げる建築は、設計分野と施工分野に大別されるが現代の設計分野に求められている人材のひとつに、練られた設計意図をCAD・BIMなどによる図面表現、BIM・CGIによるパースを駆使し現状と計画がラップしたプレゼンテーションをデジタル表現できる者があげられる。本学科は、建築の基礎知識はもちろん、意匠力・計画力の向上に向けCG情報処理・プレゼンテーション・住宅設計・インテリアコーディネートなどの授業により住宅・非住宅問わず建物内外のデザインを掘り下げ、その表現力を磨くことを目標としている。さらに企画立案段階よりアナログ・デジタル両面から多角的な視野を持ち、将来はBIMオペレーターに留まらずBIMマネージャーを目指した人材育成を展開する。																																						
認定年月日	平成26年3月31日																																						
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																																
2年	昼間	1792時間	1594時間	710時間	304時間	時間	時間																																
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内数)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																																		
50人	51人	9人	2人	9人	11人																																		
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日		成績評価	■成績表：有 ■成績評価の基準・方法 授業の出席、課題提出、平常・定期試験などから総合的に評価																																			
長期休み	■学年始め：4月1日～4月8日 ■夏季：8月8日～8月16日(令和2年度のみ) ■冬季：12月23日～1月7日 ■学年末：3月26日～3月31日		卒業・進級条件	3分の2以上の出席。 進級に必要な単位の修得。 卒業に必要な単位の修得。																																			
学修支援等	■クラス担任制：有 ■個別相談・指導等の対応 長期欠席者への指導等の対応 本人・保護者に電話または郵送にて指導		課外活動	■課外活動の種類 西淀川ものづくりまつり、修成祭、体育大会 建築倶楽部、町屋探偵団、土木研究会、ガーデニングクラブ、コンペ部、建築サイエンス部、設計塾 ■サークル活動：有 ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和元年度卒業者に係る令和2年5月1日時点の情報)																																			
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(令和元年度卒業生) (株)INGRAM INC、(株)HITS-V、(株)ユニバーサル建設、(株)スズホーム、(株)日創設計、(株)Prest ■就職指導内容 進路に関する就職、進学、大学編入などの進路支援活動を組織的な体制で行っている。キャリアデザインの相談、エントリーシートの書き方、個人面談や面接指導等におけるキャリアサポート支援は全学体制で望んでいる。 ■卒業者数：28人 ■就職希望者数：21人 ■就職者数：20人 ■就職率：95.2% ■卒業者に占める就職者の割合：71.4% ■その他 進学 大学編入：1人 専科2級建築士科：5人 (令和1年度卒業者に関する 令和2年5月1日時点の情報)		主な学修成果(資格・検定等)※3	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建築CAD検定2級</td> <td>③</td> <td>15</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>インテリアデザイン技術検定</td> <td>③</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>福祉住環境コーディネーター検定2級</td> <td>③</td> <td>14</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>カラーコーディネーター検定3級</td> <td>③</td> <td>8</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>パース検定2級</td> <td>③</td> <td>12</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>商業施設士</td> <td>③</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>ビジネス能力検定(B検)3級</td> <td>③</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>				資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	建築CAD検定2級	③	15	5	インテリアデザイン技術検定	③	2	2	福祉住環境コーディネーター検定2級	③	14	4	カラーコーディネーター検定3級	③	8	2	パース検定2級	③	12	8	商業施設士	③	3	2	ビジネス能力検定(B検)3級	③	5	5
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																																				
建築CAD検定2級	③	15	5																																				
インテリアデザイン技術検定	③	2	2																																				
福祉住環境コーディネーター検定2級	③	14	4																																				
カラーコーディネーター検定3級	③	8	2																																				
パース検定2級	③	12	8																																				
商業施設士	③	3	2																																				
ビジネス能力検定(B検)3級	③	5	5																																				
中途退学の現状	■中途退学者 1名 平成31年4月1日時点において、在学者53名(平成31年4月1日入学者を含む) 令和2年3月31日時点において、在学者52名(令和2年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 一身上の都合 ■中退防止・中退者支援のための取組 担任指導や教員連絡会での情報共有。専門カウンセラーによる面談。		■中退率	1.9%																																			
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度：有 特待生制度(建設分野のコンクール等受賞、成績優秀者)、授業料減免制度(生活保護世帯、市町村民税所得割額が非課税、家計急変など) 創立110周年記念奨学金、修成建設専門学校緊急奨学金 ■専門実践教育訓練給付：非給付対象																																						

※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。
①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの
②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの
③その他(民間検定等)

■自由記述欄

第三者による 学校評価	<p>■民間の評価機関等から第三者評価：有</p> <p>評価団体：一般社団法人 専門職高等教育保証機構</p> <p>受審年月：2018年2月</p> <p>評価結果を掲載したホームページURL：http://qaphe.com/wp-content/uploads/2017techgraduatesyusei.pdf</p>
当該学科の ホームページ URL	https://www.syusei.ac.jp/course/dept_cg.html

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1) 教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

企業等の要請を十分に生かしつつ職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成するため、教育課程の編成において、当該企業等との密接な連携により、より実践的な職業教育の質の確保のため組織的に取り組む。

(2) 教育課程編成委員会等の位置付け

委員会は、次の各号に掲げる事項を審議し、本校の職業教育の質の確保を目指す。

(1) 就職先の業界における人材の専門性に関する動向の把握・分析

(2) 国又は地域の産業振興の方向性の把握・分析

(3) 新産業の成長に伴い新たに必要となる実務に関する知識・技術・技能など把握・分析

(4) 本校の教育が、企業等の要請等を十分に生かした実践的かつ専門的な能力を育成する職業教育が実施できる教育課程の編成

(5) その他、カリキュラムに関し必要なこと

委員会での審議結果を各学科長、副科長が中心となり教育課程に反映し、校長が決定する。

学校法人修成学園 組織図は、https://www.syusei.ac.jp/jyoho/organization_location.htmlを参照

(3) 教育課程編成委員会等の全委員の名簿

2020年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
田中 義久	大阪府建築士会副会長 株式会社 田中都市建築設計事務所 代表取締役社長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	①
辻 裕樹	大阪府建築士事務所協会 副会長 株式会社匠設計 代表取締役	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	①
井上 久実	日本建築家協会協会 近畿支部 支部長 井上久実設計室 代表	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	①
東 泰紀	公益社団法人 日本建築積算協会 関西支部	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	①
倉方 俊輔	修成建設専門学校教育顧問 大阪市立大学大学院工学研究科准教授	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	②
佐藤 榮一	一般社団法人 日本建築材料協会 常務理事・事務局長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	②
小松原 学	職業訓練法人 全国建設産業教育訓練協会 富士教育訓練センター 校長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	②
大上 哲男	公益財団法人 堺市公園協会 課長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	②
西濱 浩次	修成建設専門学校教育顧問 株式会社コンバス建築工房 代表取締役	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
鍵山 昌信	修成建設専門学校 建築学科教育アドバイザー ア・ティエス環境+建築設計事務所	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
中村 裕輔	一般社団法人日本賞環境デザイン協会 理事 関西支部長 株式会社乃村巧藝社 中部支店クリエイティブ部 部長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
坂入 喜代枝	コーナン建設株式会社 執行役員 人事部長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
市岡 武	村本建設株式会社 取締役常務執行役員	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
壺山 和之	壺山建設株式会社 代表取締役	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
小島 章	株式会社 竹中土木大阪本店 技術・設計部 技術グループ リーダー部長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
富山 毅	株式会社 橋梁コンサルタント 西日本支社長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
榎村 吉高	株式会社 荒木造園設計 部長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③

村松 雄一郎	株式会社 オオバ 大阪支店 まちづくり部 設計課 課長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
森本 和真	株式会社 森本庭園 造園部	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
山下 裕貴	学校法人修成学園 理事長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
堤下 隆司	修成建設専門学校 校長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
見邨 佳朗	修成建設専門学校 副校長 建築CGデザイン学科科長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
谷川 博康	修成建設専門学校 学生相談室室長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
増田 和浩	修成建設専門学校 建築学科長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
鍵谷 啓太	修成建設専門学校 空間デザイン学科科長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
釜友 知世子	修成建設専門学校 専科2級建築士科科長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
樋下 昌俊	修成建設専門学校 住環境リノベーション学科科長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
野瀬 孝男	修成建設専門学校 土木工学科・建設エンジニア学科長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
明石 祥子	修成建設専門学校 ガーデンデザイン学科科長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
上杉 敬史	修成建設専門学校 進路係長	2020年4月1日～2021年3月31日 (1年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4) 教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(開催日時)

①年間開催回数：2回 ②開催時期：10月及び2月 ③平成25年度から計12回開催

第11回 平成30年10月16(水)18:00～20:00

第12回 平成31年2月12日(火)18:00～20:30

(5) 教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

建築設計分野、デザイン分野の求人企業数を更に増やすため建築士会・建築士事務所協会などに協力依頼を行いながら、求人社数拡大を図っていく。意見や提案等は、学科長、科目主任を中心に教育課程全体の効果やスケジュールを明確にしている。資格試験への受験機会を広げた。成功体験を積み重ねることで学習意欲を高め、さらに上位資格へのチャレンジへとスキルアップにつなげていく。就職活動時からミスマッチが起こらないよう指導と共にインターンシップへの積極的な参加を促した。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する知識、技術、技能を習得・向上するとともに、授業及び学生に対する指導力等の向上を目標としている。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

製図に関しては、実務者を中心に担当。科目会議にて指導や内容の検討を行っている。また、各協会より出前授業を依頼、実践授業を行っている。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
建築製図	製図の基礎、木造、木造3階建住宅、鉄骨造、鉄筋コンクリート造	ア・ティエス環境+建築設計事務所他
建築実験実習	セメント、骨材、コンクリート、鉄筋、木材、ボルト接合の材料力学性能	日本建築材料協会他
建築積算学・同演習	建築工事に必要な直接工事費、間接工事費の算出方法	日本建築積算協会他
建築設計製図	各科目で学習した知識を応用して、設計に必要な考察力及び、設計図書作成に必要な能力を養う	ミムラ建築計画工房他
CAD設計製図	1年次に習得した各科目の知識を総合して表現し、製図のルールとCADのスキルを定着させ、常に考える習慣を養う。 ①手描きからCAD化への流れ②スケールに応じた表現③各種図面の作成方法④レイアウトの仕方⑤印刷の仕方	TOFU建築設計事務所他

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針

「学校法人修成学園就業規則 第9章 第59条」の研修義務に基づき、企業等から講師を招き教員に対し実務に関する知識、技術、工法などについて校内で実施する教育研修会、各種団体等が開催する研修会・セミナーの活用、大学等の教育機関での研修・研究会等で、職業に関連した実務に関する知識、技術及び工法ならび教授法、指導力、キャリア支援教育等、向上のための研修会等に積極的に受講させる。

(2) 研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

期間	主催者	研修内容	対象	参加
6月17日	(一社)日本建築材料協会	建築材料・住宅設備総合展 KENTEN2019	教員	2
4月10日 ～7月10日	修成建設専門学校	①ハードウェアシステム講座（計2回） ②デジタルグラフィック講座（計3回）	教員	4
6月19日	修成建設専門学校	空間デザイン・インテリアデザインの領域に関する特別講座	教員	6
6月22日	修成建設専門学校 GATUNクラブ	明治村研修見学会	教員	2
6月25日	(一社)大阪府建築士事務所協会	第4支部研修会	教員	2
7月6日	公益社団法人 竹中大工道具館	研修見学	教員	1
10月27日	生きた建築ミュージアム	見学	教員	1
12月14日	修成建設専門学校	建築家岡啓輔氏の自力建設を語る講演会	教員	6

②指導力の修得・向上のための研修等

期間	主催者	研修内容	対象	参加
6月17日	大阪市企業人権推進協議会	人権啓発基礎講座	教員	1
8月6日	東京未来大学	教育現場におけるモチベーション 対人コミュニケーションの理解と促進	教員	1
9月18日	大阪市企業人権推進協議会	令和元年度「経営層人権啓発講座」	教員	1
7月13日	学校法人修成学園	高等教育の無償化（修学支援新制度）について	教職員	48
9月21日	学校法人修成学園	外部講師による研修会「Z世代に向けた教育手法とは」	教職員	48
10月5日	全国工業専門学校協会	令和元年度「学成果報告会」	教員	4
10月28日	キャリアサポートOfficeAOKI	教職員のための指導力向上講座	職員	2
10月30日	大阪府建築士事務所協会	ハラスメント問題の基本的理解と発生防止	教職員	2
10月28日	(一社)大阪府専修学校各種学校連合会	活力のあるクラスづくりのための指導力向上講座	職員	2
11月3日	日本産業カウンセラー協会	事例に学ぶ発達障害の理解と対応	教員	1
11月2日	日本産業カウンセラー協会	メンタルヘルスの理解と対応	教員	1
12月7日	東京未来大学（文部科学省委託事業）	学校を巡る近年の状況と法令改正及び国の動向	教員	1
1月7日	修成建設専門学校	教員研修発表会	教員	40
1月29日	大阪市企業人権推進協議会	労務・人権啓発講座ブロックD	教員	1
2月18日	大阪市企業人権推進協議会	労務・人権啓発講座ブロックE	教員	1

(3) 研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

主催：全国専門学校建築養育連絡協議会 内容：総会・研修会
主催：一般社団法人大阪府建築士事務所協会 研修会・意見交換会
主催：公益社団法人大阪府建築士会 研修会・意見交換会
主催：修成・東海工業・青山製図 内容：2級建築士取得コース意見交換会

②指導力の修得・向上のための研修等

主催：修成建設専門学校 教員研修発表会
主催：学校法人修成学園 教職員研修会
主催：大阪府専修学校各種学校連合会 人権教育研修会
主催：大阪府専修学校各種学校連合会 新任教員研修会

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

委員会が、自己評価の結果に基づいて行う学校関係者評価の実施とその結果を公表することにより、適切に説明責任を果たすとともに、学校関係者等から理解と参画を得て、地域におけるステークホルダーと専修学校との連携協力による特色のある学校づくりを進める。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	基準1 教育理念・目標・育成人材像
(2) 学校運営	基準2 学校運営
(3) 教育活動	基準3 教育活動
(4) 学修成果	基準4 学修成果
(5) 学生支援	基準5 学生支援
(6) 教育環境	基準6 教育環境
(7) 学生の受入れ募集	基準7 学生の募集と受け入れ
(8) 財務	基準8 財務
(9) 法令等の遵守	基準9 法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	基準10 社会貢献
(11) 国際交流	基準10 社会貢献

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

- ・インターンシップのフォローアップ体制の強化および新規開拓を実施した。
- ・卒業生との交流を積極的に行った
- ・建築士事務所協会の各行事に積極的に参加した。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

2019年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
奥田 祐司	在校生の保護者	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	保護者
丸山 徹	卒業生の保護者	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	保護者
相賀 勝	元吹田市役所 理事	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	団体役員
藤田 晴樹	株式会社ジェイネット 代表取締役	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	企業等委員
山崎 充	浅川道路株式会社 代表取締役	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	企業等委員
大槻 憲章	おおさか緑と樹木の診断協会 理事	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	企業等委員
田中 文雄	大和田連合振興町会長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	地域役員
大和 正	学校法人興国学園 興國高等学校 教頭	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	教育関係者
苅野 起三子	修成学園 評議員	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	学園関係者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期
(ホームページ 毎年2月下旬)

URL:<https://www.syusei.ac.jp/jyoho/index.html>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校の概要、目標及び計画や学科の教育をはじめとする様々な情報をホームページだけでなく学校案内、募集要項、求人パンフレット等の刊行物により積極的に公開することとする。
教育課程編成委員会学ならび校関係者評価委員会にも配布・公開し、理解と助言を求めている。教育の質保証、教育の見える化を図ることを基本方針とする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の概要、人材育成型、育成計画
(2) 各学科等の教育	学科の教育
(3) 教職員	組織及び教職員の状況
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育、実践的職業教育
(5) 様々な教育活動・教育環境	様々な教育活動・教育環境
(6) 学生の生活支援	学生の生活支援
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金・修学支援
(8) 学校の財務	学校の財務
(9) 学校評価	学校評価
(10) 国際連携の状況	様々な教育活動・教育環境
(11) その他	その他

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

URL:<https://www.syusei.ac.jp/jyoho/index.html>

授業科目等の概要

(工業専門課程 建築CGデザイン学科) 2020年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			建築製図	製図の基礎、木造、鉄骨造、鉄筋コンクリート造	1	192	5			○	○		○	○	
○			建築設計製図	各種建築物の計画・設計	2	192	6		○		○		○	○	
○			CAD設計製図	基本設計図を基に実施設計図書、施工図をCAD作成	2	64	2		○		○		○	○	
○			建築計画学	設計に必要な、住居建築物の計画、特定建築物の計画	1	64	4	○			○		○		
○			建築歴史	建築の発生から発展、構造・様式などの歴史を通じて学生が建築技術者として必要な常識を養う	1	64	4	○			○		○	○	
○			建築環境工学	環境工学概説、日照と日射、室内熱環境、室内空気環境、室内照明環境、室内音環境	2	64	4	○			○		○		
○			建築設備工学	給排水設備、衛生設備、室内調和設備、電気設備	2	64	4	○			○		○		
○			建築構造力学・同演習	一般事項、力の釣合条件、静定骨組の応力、部材応力と変形、静定骨組の変形、不静定構造物の解法	1	128	6	○	△		○		○		
○			建築一般構造学	各種構造の地震や台風等に対処する仕組、構成を学ぶ	1	64	4	○			○		○		
○			建築材料学	建築に使用する素材別材料、用途別材料	1	64	4	○			○		○	○	

○		建築実験実習	セメント、骨材、コンクリート、鉄筋、木材、ボルト接合の材料力学性能	1	32	1			○	○		○		○	
○		建築施工	建築工事の請負制度、契約および工事全般	1	64	4	○			○				○	○
○		建築積算学・同演習	建築工事に必要な直接工事費、間接工事費の算出方法	2	64	3	○	△		○				○	○
○		建築法規	建築基準法の単体・集団規定、制度規定、関連法規	2	64	4	○			○				○	
○		CG情報処理・同演習	CAD基礎、CG基礎	1	128	5	△	○		○				○	
○		CG演習	CAD応用、CG応用、CGエンジニア検定対策	2	128	5	△	○		○				○	
○		卒業設計	2年間の学習成果を製作する 構造コース、意匠設計コース、意匠コース、基本設計コース、積算コース	2	64	4	○			○				○	
	○	住宅設計演習	住宅設計の計画方法、設計図書の理解	2	64	2	△	○		○				○	○
	○	プレゼンテーションⅠ	各種課題の表現基礎	1	64	2	△	○		○				○	○
	○	プレゼンテーションⅡ	コンペ、コンクールへの挑戦	2	64	2	△	○		○				○	○
	○	インテリア	家具作りの基礎、内装の表現方法、インテリアプランナー試験対策	1	64	3	○	△		○				○	○
	○	インテリアコーディネートⅠ	設計図書からインテリア表現の基礎	2	32	1	○	△		○				○	○
	○	インテリアコーディネートⅡ	インテリア表現応用、インテリアコーディネート試験対策	2	32	1	○	△		○				○	○

○	不動産	宅地建物取引主任者資格取得対策	1	64	4	○			○			○	○
○	福祉住環境	福祉住環境コーディネーター資格取得対策	1	64	4	○			○			○	
○	色彩学Ⅰ	色の組み合わせの法則	2	32	2	○			○			○	
○	色彩学Ⅱ	カラーコーディネーター資格取得対策	2	32	2	○			○			○	
○	建設ビジネス学	技術者に必要なコミュニケーション、ビジネス文書作成	1	32	2	○			○			○	
○	建築総論	二級建築士・2級建築施工管理技士養成講座	2	64	3	○	△		○			○	
○	ワークショップⅠ	建設業に必要な事柄を企業や設計者を招き実務教育を行う	1	32	1	○	△		○			○	
○	ワークショップⅡ	企業、設計事務所でインターンシップ等を経験する	2	32	1	○	△		○			○	
○	企業実習Ⅰ	企業や団体・機関など実際の職場で働く模擬体験をする	1	40	1				○	○		○	
○	企業実習Ⅱ	企業や団体・機関など実際の職場で働く模擬体験をする	2	40	1				○	○		○	
	○	微分積分学Ⅰ	微分法、不定積分法	1	32	2	○			○			○
	○	微分積分学Ⅱ	微分方程式、定積分、大学編入対策講座	1	32	2	○			○			○
	○	応用数学Ⅰ	解析幾何学、代数学	2	32	2	○			○			○

		○	応用数学Ⅱ	方程式の解法、計算法、工学の応用演習	2	32	2	○			○			○
		○	物理学Ⅰ	質点と剛体の力学、変形体の力	1	32	2	○			○			○
		○	物理学Ⅱ	大学編入対策講座	1	32	2	○			○			○
		○	線形代数Ⅰ	マトリックス方程式、行列	2	32	2	○			○			○
		○	線形代数Ⅱ	工学への応用演習、大学編入対策講座	2	32	2	○			○			○
		○	工業英語Ⅰ	英文法、英文構造	1	32	2	○			○			○
		○	工業英語Ⅱ	英文法、英文構造の応用	1	32	2	○			○			○
		○	工業英語Ⅲ	工業英語文書、営業・契約文書の公式文書	2	32	2	○			○			○
合計			科目		2608単位時間(123単位)									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
3分の2以上の出席。進級に必要な単位の修得。卒業に必要な単位の修得。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	16週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																																				
修成建設専門学校	昭和51年4月1日	堤下隆司	〒555-0032 大阪府大阪市西淀川区大和田5-19-30 (電話) 06-6474-1644																																				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																																				
学校法人修成学園	昭和51年4月1日	山下裕貴	〒555-0032 大阪府大阪市西淀川区大和田5-19-30 (電話) 06-6474-1644																																				
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士																																		
工業	工業専門課程	第1本科(昼)空間デザイン学科		平成17年文部科学省 告示第176号	なし																																		
学科の目的	空間デザインの仕事は建築のなかでも最も身体に近いインテリアからはじまり、建築そのものやエクステリア、装飾や舞台美術など広範囲が対象となる。そのため建築だけではなく材料・照明・色彩などの豊富な知識とデザイン技術、それを表現し他者に伝える力が必要とされる。またこの分野では時代に応じて常に新しいデザインが求められ、そのためにはトレンドに興味を持つことと共に、その背景となる歴史への視点が必要となる。本学科では、店舗施設などの商業空間、ミュージアムなどの公共空間、住宅などの住空間などについて、必要とされる要件を整理してデザインを行なう技術と、それを効果的に伝えるためのプレゼンテーション技術を習得する。																																						
認定年月日	平成26年3月31日																																						
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																																
2年	昼間	1760時間	1563時間	613時間	304時間	時間	時間																																
単位時間																																							
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内数)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																																		
90人	125人	14人	4人	9人	13人																																		
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日		成績評価	■成績表：有 ■成績評価の基準・方法 授業の出席、課題提出、平常・定期試験などから総合的に評価																																			
長期休み	■学年始め：4月1日～4月8日 ■夏季：8月8日～8月16日(令和2年度のみ) ■冬季：12月23日～1月7日 ■学年末：3月26日～3月31日		卒業・進級条件	3分の2以上の出席。 進級に必要な単位の修得。 卒業に必要な単位の修得。																																			
学修支援等	■クラス担任制：有 ■個別相談・指導等の対応 長期欠席者への指導等の対応 本人・保護者に電話または郵送にて指導		課外活動	■課外活動の種類 西淀川ものづくりまつり、修成祭、体育大会 建築倶楽部、町屋探偵団、土木研究会、ガーデニングクラブ、コンペ部、建築サイエンス部、設計塾 ■サークル活動：有 ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和元年度卒業者に関する令和2年5月1日時点の情報)																																			
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(令和元年度卒業生) (株)スペース、(株)オフィスインテリア、(株)フジヤ、(株)石橋清志建築設計事務所、トヨタホーム近畿(株)、(株)スマイルデザイン		主な学修成果(資格・検定等)※3	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>インテリア設計士2級</td> <td>③</td> <td>6</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>カラーコーディネーター検定3級</td> <td>③</td> <td>10</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>パース検定2級</td> <td>③</td> <td>20</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>インテリアデザイン技能検定</td> <td>③</td> <td>8</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>商業施設士</td> <td>③</td> <td>25</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>福祉住環境コーディネーター検定2級</td> <td>③</td> <td>31</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>建築積算士補</td> <td>③</td> <td>20</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table>				資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	インテリア設計士2級	③	6	3	カラーコーディネーター検定3級	③	10	5	パース検定2級	③	20	18	インテリアデザイン技能検定	③	8	7	商業施設士	③	25	24	福祉住環境コーディネーター検定2級	③	31	4	建築積算士補	③	20	20
	資格・検定名	種別		受験者数	合格者数																																		
	インテリア設計士2級	③		6	3																																		
	カラーコーディネーター検定3級	③		10	5																																		
パース検定2級	③	20	18																																				
インテリアデザイン技能検定	③	8	7																																				
商業施設士	③	25	24																																				
福祉住環境コーディネーター検定2級	③	31	4																																				
建築積算士補	③	20	20																																				
■就職指導内容 進路に関する就職、進学、大学編入などの進路支援活動を組織的な体制で行っている。キャリアデザインの相談、エントリーシートの書き方、個人面談や面接指導等におけるキャリアサポート支援は全学体制で望んでいる。																																							
■卒業者数：42人 ■就職希望者数：33人 ■就職者数：32人 ■就職率：97.0% ■卒業者に占める就職者の割合：76.2%																																							
■その他 進学 大学編入：1人 専科2級建築士科：8人																																							
中途退学の現状	■中途退学者 13名 平成31年4月1日時点において、在学者111名(平成31年4月1日入学者を含む) 令和2年3月31日時点において、在学者98名(令和2年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 家庭の事情、進路変更、一身上の都合		■中退率 11.7%																																				
■中退防止・中退者支援のための取組 担任指導や教員連絡会での情報共有。専門カウンセラーによる面談。																																							

※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。
①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの
②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの
③その他(民間検定等)

経済的支援制度	<p>■学校独自の奨学金・授業料等減免制度：有 特待生制度（建設分野のコンクール等受賞、成績優秀者）、授業料減免制度（生活保護世帯、市町村民税所得割額が非課税、家計急変など） 創立110周年記念奨学金、修成建設専門学校緊急奨学金</p> <p>■専門実践教育訓練給付：非給付対象</p>
第三者による学校評価	<p>■民間の評価機関等から第三者評価：有 評価団体：一般社団法人 専門職高等教育質保証機構 受審年月：2018年2月 評価結果を掲載したホームページURL：http://qaphe.com/wp-content/uploads/2017techgraduatesyusei.pdf</p>
当該学科のホームページURL	https://www.syusei.ac.jp/course/dept_space.html

（留意事項）

1. 公表年月日（※1）

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況（※2）

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて（通知）（25文科生第596号）」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

（1）「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員（雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいいます。

※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

（2）「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う）。

（3）上記のほか、「就職者数（関連分野）」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果（※3）

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他（民間検定等）の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果（例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等）について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1) 教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

企業等の要請を十分に生かしつつ職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成するため、教育課程の編成において、当該企業等との密接な連携により、より実践的な職業教育の質の確保のため組織的に取り組む。

(2) 教育課程編成委員会等の位置付け

委員会は、次の各号に掲げる事項を審議し、本校の職業教育の質の確保を目指す。

- (1) 就職先の業界における人材の専門性に関する動向の把握・分析
- (2) 国又は地域の産業振興の方向性の把握・分析
- (3) 新産業の成長に伴い新たに必要となる実務に関する知識・技術・技能など把握・分析
- (4) 本校の教育が、企業等の要請等を十分に生かした実践的かつ専門的な能力を育成する職業教育が実施できる教育課程の編成
- (5) その他、カリキュラムに関し必要なこと

委員会での審議結果を各学科長、副科長が中心となり教育課程に反映し、校長が決定する。

学校法人修成学園 組織図は、https://www.syusei.ac.jp/jyoho/organization_location.htmlを参照

(3) 教育課程編成委員会等の全委員の名簿

2020年4月1日現在

名 前	所 属	任 期	種 別
田中 義久	大阪府建築士会副会長 株式会社 田中都市建築設計事務所 代表取締役社長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	①
辻 裕樹	大阪府建築士事務所協会 副会長 株式会社匠設計 代表取締役	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	①
井上 久実	日本建築家協会協会 近畿支部 支部長 井上久実設計室 代表	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	①
東 泰紀	公益社団法人 日本建築積算協会 関西支部	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	①
倉方 俊輔	修成建設専門学校教育顧問 大阪市立大学大学院工学研究科准教授	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	②
佐藤 榮一	一般社団法人 日本建築材料協会 常務理事・事務局長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	②
小松原 学	職業訓練法人 全国建設産業教育訓練協会 富士教育訓練センター 校長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	②
大上 哲男	公益財団法人 堺市公園協会 課長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	②
西濱 浩次	修成建設専門学校教育顧問 株式会社コンパス建築工房 代表取締役	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
鍵山 昌信	修成建設専門学校 建築学科教育アドバイザー ア・ティエス環境+建築設計事務所	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
中村 裕輔	一般社団法人日本賞環境デザイン協会 理事 関西支部長 株式会社乃村巧藝社 中部支店クリエイティブ部 部長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
坂入 喜代枝	コーナン建設株式会社 執行役員 人事部長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
市岡 武	村本建設株式会社 取締役常務執行役員	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
壺山 和之	壺山建設株式会社 代表取締役	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
小島 章	株式会社 竹中土木大阪本店 技術・設計部 技術グループ リーダー部長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
富山 毅	株式会社 橋梁コンサルタント 西日本支社長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
榎村 吉高	株式会社 荒木造園設計 部長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③

村松 雄一郎	株式会社 オオバ 大阪支店 まちづくり部 設計課 課長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
森本 和真	株式会社 森本庭園 造園部	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
山下 裕貴	学校法人修成学園 理事長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
堤下 隆司	修成建設専門学校 校長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
見邨 佳朗	修成建設専門学校 副校長 建築CGデザイン学科科長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
谷川 博康	修成建設専門学校 学生相談室室長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
増田 和浩	修成建設専門学校 建築学科長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
鍵谷 啓太	修成建設専門学校 空間デザイン学科科長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
釜友 知世子	修成建設専門学校 専科2級建築士学科科長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
樋下 昌俊	修成建設専門学校 住環境リノベーション学科科長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
野瀬 孝男	修成建設専門学校 土木工学科・建設エンジニア学科長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
明石 祥子	修成建設専門学校 ガーデンデザイン学科科長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
上杉 敬史	修成建設専門学校 進路係長	2020年4月1日～2021年3月31日 (1年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4) 教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(開催日時)

①年間開催回数：2回 ②開催時期：10月及び2月 ③平成25年度から計14回開催

第13回 2019年10月3日18:00～20:00

第14回 2020年2月5日18:00～20:30

(5) 教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

日本商環境デザイン協会・日本建築家協会・建築士事務所協会などと連携した求人確保に努める。教員が業界・企業研究を率先して行い、学生に適切なアドバイスが行える環境の構築を目指す。またインターネットや外部団体の活用など積極的・能動的な業界研究と就職活動の早期スタートを指導する。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する知識、技術、技能を習得・向上するとともに、授業及び学生に対する指導力等の向上を目標としている。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

製図に関しては、実務者を中心に担当。科目会議にて指導や内容の検討を行っている。また、各協会より出前授業を依頼、実践授業を行っている。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
建築製図	製図の基礎、木造、木造3階建住宅、鉄骨造、鉄筋コンクリート造	ミムラ建築計画工房 他
スペースデザイン	さまざまな表現による演習課題を通じて空間デザインの基礎知識と発想の育成を行い、表現技術の基礎育成を目的とする	space note DO・EYE・DO
色彩学Ⅰ	インテリアコーディネーター資格を取得する能力を育成するため、インテリアに関する基礎的知識を理解できるようにする。	一般社団法人 日本パーステック協会
建築設計製図	各科目で学習した知識を応用して、設計に必要な考察力及び、設計図書作成に必要な能力を養う	mills architects studio
グラフィックCAD	1年生において修得した2次元CADと、コンピュータグラフィックス作成方法で実務に役立つ作品の作成を目標とし、卒業後役立つ建築パースやグラフィックデザイン等の能力を習得する。	mills architects studio

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針
 「学校法人修成学園就業規則 第9章 第59条」の研修義務に基づき、企業等から講師を招き教員に対し実務に関する知識、技術、工法などについて校内で実施する教育研修会、各種団体等が開催する研修会・セミナーの活用、大学等の教育機関での研修・研究会等で、職業に関連した実務に関する知識、技術及び工法ならび教授法、指導力、キャリア支援教育等、向上のための研修会等に積極的に受講させる。

(2) 研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

期間	主催者	研修内容	対象	参加
6月17日	(一社)日本建築材料協会	建築材料・住宅設備総合展 KENTEN2019	教員	2
6月19日	修成建設専門学校	空間デザイン・インテリアデザインの領域に関する特別講座	教員	6
6月22日	修成建設専門学校 GATUNクラブ	明治村研修見学会	教員	2
6月25日	(一社)大阪府建築士事務所協会	第4支部研修会	教員	2
7月6日	公益社団法人 竹中大工道具館	研修見学	教員	1
10月27日	生きた建築ミュージアム	見学	教員	1
12月14日	修成建設専門学校	建築家岡啓輔氏の自力建設を語る講演会	教員	6

②指導力の修得・向上のための研修等

期間	主催者	研修内容	対象	参加
6月17日	大阪市企業人権推進協議会	人権啓発基礎講座	教員	1
8月6日	東京未来大学	教育現場におけるモチベーション対人コミュニケーションの理解と促進	教員	1
9月18日	大阪市企業人権推進協議会	令和元年度「経営層人権啓発講座」	教員	1
7月13日	学校法人修成学園	高等教育の無償化（修学支援新制度）について	教職員	48
9月21日	学校法人修成学園	外部講師による研修会「Z世代に向けた教育手法とは」	教職員	48
10月5日	全国工業専門学校協会	令和元年度「学生成果報告会」	教員	4
10月28日	キャリアサポートOfficeAOKI	教職員のための指導力向上講座	職員	2
10月30日	大阪府建築士事務所協会	ハラスメント問題の基本的理解と発生防止	教職員	2
10月28日	(一社)大阪府専修学校各種学校連合会	活力のあるクラスづくりのための指導向上講座	職員	2
11月3日	日本産業カウンセラー協会	事例に学ぶ発達障害の理解と対応	教員	1
11月2日	日本産業カウンセラー協会	メンタルヘルスの理解と対応	教員	1
12月7日	東京未来大学（文部科学省委託事業）	学校を巡る近年の状況と法令改正及び国の動向	教員	1
1月7日	修成建設専門学校	教員研修発表会	教員	40
1月29日	大阪市企業人権推進協議会	労務・人権啓発講座ブロックD	教員	1
2月18日	大阪市企業人権推進協議会	労務・人権啓発講座ブロックE	教員	1

(3) 研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

主催：全国専門学校建築養育連絡協議会 内容：総会・研修会
主催：一般社団法人大阪府建築士事務所協会 研修会・意見交換会
主催：公益社団法人大阪府建築士会 研修会・意見交換会

②指導力の修得・向上のための研修等

主催：修成建設専門学校 教員研修発表会
主催：学校法人修成学園 教職員研修会
主催：大阪府専修学校各種学校連合会 人権教育研修会
主催：大阪府専修学校各種学校連合会 新任教員研修会

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

委員会が、自己評価の結果に基づいて行う学校関係者評価の実施とその結果を公表することにより、適切に説明責任を果たすとともに、学校関係者等から理解と参画を得て、地域におけるステークホルダーと専修学校との連携協力による特色のある学校づくりを進める。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	基準1 教育理念・目標・育成人材像
(2) 学校運営	基準2 学校運営
(3) 教育活動	基準3 教育活動
(4) 学修成果	基準4 学修成果
(5) 学生支援	基準5 学生支援
(6) 教育環境	基準6 教育環境
(7) 学生の受入れ募集	基準7 学生の募集と受け入れ
(8) 財務	基準8 財務
(9) 法令等の遵守	基準9 法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	基準10 社会貢献
(11) 国際交流	基準10 社会貢献

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

- ・インターンシップのフォローアップ体制の強化および新規開拓を実施した。
- ・卒業生との交流を積極的に行った
- ・建築士事務所協会の各行事に積極的に参加した。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

2019年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
奥田 祐司	在校生の保護者	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	保護者
丸山 徹	卒業生の保護者	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	保護者
相賀 勝	元吹田市役所 理事	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	団体役員
藤田 晴樹	株式会社ジェイネット 代表取締役	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	企業等委員
山崎 充	浅川道路株式会社 代表取締役	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	企業等委員
大槻 憲章	おおさか緑と樹木の診断協会 理事	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	企業等委員
田中 文雄	大和田連合振興町会長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	地域役員
大和 正	学校法人興国学園 興國高等学校 教頭	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	教育関係者
苅野 起三子	修成学園 評議員	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	学園関係者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期
(ホームページ 毎年2月下旬)

URL:<https://www.syusei.ac.jp/jyoho/index.html>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校の概要、目標及び計画や学科の教育をはじめとする様々な情報をホームページだけでなく学校案内、募集要項、求人パンフレット等の刊行物により積極的に公開することとする。
教育課程編成委員会学ならび校関係者評価委員会にも配布・公開し、理解と助言を求めている。教育の質保証、教育の見える化を図ることを基本方針とする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の概要、人材育成像、育成計画
(2) 各学科等の教育	学科の教育
(3) 教職員	組織及び教職員の状況
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育、実践的職業教育
(5) 様々な教育活動・教育環境	様々な教育活動・教育環境
(6) 学生の生活支援	学生の生活支援
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金・修学支援
(8) 学校の財務	学校の財務
(9) 学校評価	学校評価
(10) 国際連携の状況	様々な教育活動・教育環境
(11) その他	その他

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

URL:<https://www.syusei.ac.jp/jyoho/index.html>

授業科目等の概要

(工業専門課程 空間デザイン学科) 2020年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			建築製図	製図の基礎、木造、鉄骨造、鉄筋コンクリート造	1	192	5			○	○		○	○	
○			建築設計製図	各種建築物の計画・設計	2	192	6		○		○		○	○	
○			グラフィックCAD	CAD応用、プレゼンテーションソフト応用	2	64	2		○		○		○	○	
○			建築計画学	設計に必要な、住居建築物の計画、特定建築物の計画	1	64	4	○			○		○		
○			建築環境工学	環境工学概要、日照と日射、室内熱環境、室内空気環境、室内照明環境、室内音環境	2	64	4	○			○			○	
○			建築設備工学	給排水設備、衛生設備、室内調和設備、電気設備	2	64	4	○			○		○		
○			建築構造力学・同演習	一般事項、力の釣合条件、静定骨組の応力、部材応力と変形、静定骨組の変形、不静定構造物の解法	1	128	6	○	△		○		○		
○			建築一般構造学	各種構造の地震や台風等に対処する仕組、構成を学ぶ	1	64	4	○			○		○		
○			建築材料学	建築に使用する素材別材料、用途別材料	1	64	4	○			○		○		

○		建築実験実習	セメント、骨材、コンクリート、鉄筋、木材、ボルト接合の材料力学性能	1	32	1			○	○		○		
○		建築施工	建築工事の請負制度、契約および工事全般	1	64	4	○			○		○		
○		建築積算・同演習	建築工事に必要な直接工事費、間接工事費の算出方法	2	64	3	○	△		○			○	○
○		建築法規	建築基準法の単体・集団規定、制度規定、関連法規	2	64	4	○						○	
○		スペースデザインⅠ	生活環境すべて「空間デザイン」の視点で見る表現基礎演習	1	128	5	△	○		○			○	○
○		スペースデザインⅡ	卒業後必要な「空間デザイン」表現演習	2	128	5	△	○		○			○	○
○		情報処理・同演習	オフィスソフト、CADソフトの活用	1	64	2	△	○		○			○	
○		建築歴史	建築の発生から発展、構造・様式などの歴史を通じて学生が建築技術者として必要な常識を養う	1	64	4	○			○			○	
○		卒業設計	2年間の学習成果を製作する 構造コース、意匠設計コース、意匠コース、基本設計コース、積算コース	2	64	4	○			○			○	
	○	インテリア・プロダクト演習Ⅰ	平面、立体、色彩構成などの造形基礎演習	1	32	1	○	△		○				○
	○	インテリア・プロダクト演習Ⅱ	プロダクトデザインやインテリアデザインの基礎図面作成	1	32	1	○	△		○				○
	○	インテリア・プロダクト演習Ⅲ	コンペ、コンクールへの挑戦	2	32	1	○	△		○				○

	○	インテリア・ プロダクト演 習Ⅳ	卒業後必要な「インテリア・プロダク ト」作品製作演習	2	32	1	○	△		○			○	○
	○	インテリア コーディネー トⅠ	設計図書からインテリア表現の基礎	2	32	1	○	△		○			○	○
	○	インテリア コーディネー トⅡ	インテリア表現応用、インテリアコー ディネート試験対策	2	32	1	○	△		○			○	○
	○	福祉住環境	福祉住環境コーディネーター資格取得 対策	1	64	4	○			○			○	
	○	色彩学Ⅰ	色の組み合わせの法則	2	32	2	○			○			○	
	○	色彩学Ⅱ	カラーコーディネーター資格取得対策	2	32	2	○			○			○	
	○	建設ビジネス 学	技術者に必要なコミュニケーション、 ビジネス文書作成	1	32	2	○			○			○	
	○	建築総論	二級建築士・2級建築施工管理技士養成 講座	2	64	3	○	△		○			○	
	○	ワークショッ プⅠ	建設業に必要な事柄を企業や設計者を 招き実務教育を行う	1	32	1	○	△		○			○	
	○	ワークショッ プⅡ	企業、団体・機関などでインターン シップ等を経験する	2	32	1	○	△		○			○	
	○	企業実習Ⅰ	企業や団体・機関など実際の職場で働 く模擬体験をする	1	40	1				○	○		○	
	○	企業実習Ⅱ	起業や団体・機関など実際の職場で働 く模擬体験をする	2	40	1				○	○		○	
	○	微分積分学Ⅰ	微分法、不定積分法	1	32	2	○			○			○	

		○	微分積分学Ⅱ	微分方程式、定積分、大学編入対策講座	1	32	2	○			○		○
		○	応用数学Ⅰ	解析幾何学、代数学	2	32	2	○			○		○
		○	応用数学Ⅱ	方程式の解法、計算法、工学の応用演習	2	32	2	○			○		○
		○	物理学Ⅰ	質点と剛体の力学、変形体の力	1	32	2	○			○		○
		○	物理学Ⅱ	大学編入対策講座	1	32	2	○			○		○
		○	線形代数Ⅰ	マトリックス方程式、行列	2	32	2	○			○		○
		○	線形代数Ⅱ	工学への応用演習、大学編入対策講座	2	32	2	○			○		○
		○	工業英語Ⅰ	英文法、英文構造	1	32	2	○			○		○
		○	工業英語Ⅱ	英文法、英文構造の応用	1	32	2	○			○		○
		○	工業英語Ⅲ	工業英語文書、営業・契約文書等の公式文書	2	32	2	○			○		○
合計				科目	2480単位時間(116単位)								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
3分の2以上の出席。進級に必要な単位の修得。卒業に必要な単位の修得。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	16週

(留意事項)

1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																					
修成建設専門学校	昭和51年4月1日	堤下隆司	〒555-0032 大阪府大阪市西淀川区大和田5-19-30 (電話) 06-6474-1644																					
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																					
学校法人修成学園	昭和51年4月1日	山下裕貴	〒555-0032 大阪府大阪市西淀川区大和田5-19-30 (電話) 06-6474-1644																					
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士																			
工業	工業専門課程	第1本科(昼)住環境リノベーション学科		平成26年文部科学省 告示第6号	なし																			
学科の目的	現場管理技術者は、建設業務の内容の理解(発注・積算・見積り・官庁署等提出書類作成)、設計者との打ち合わせ(施工図・工程表・安全書類)等現場での業務が要求される。 そのためには、建設技術者としての倫理教育を取り入れ、必要な業務内容を理解することで管理技術者を養成し、即戦力の人材育成を目指す。																							
認定年月日	平成26年3月31日																							
修業年限	昼夜	講義		演習	実習	実験																		
2年	昼間	1462時間		682時間	336時間	時間																		
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員のうち)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																			
120人	72人	2人	4人	8人	12人																			
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日		成績評価	■成績表：有 ■成績評価の基準・方法 授業の出席、課題提出、平常・定期試験などから総合的に評価																				
長期休み	■学年始め：4月1日～4月8日 ■夏季：8月8日～8月16日(令和2年度のみ) ■冬季：12月23日～1月7日 ■学年末：3月26日～3月31日		卒業・進級条件	3分の2以上の出席。 進級に必要な単位の修得。 卒業に必要な単位の修得。																				
学修支援等	■クラス担任制：有 ■個別相談・指導等の対応 長期欠席者への指導等の対応 本人・保護者に電話または郵送にて指導		課外活動	■課外活動の種類 西淀川ものづくりまつり、修成祭、体育大会、卒業展、見学会 建築倶楽部、町屋探偵団、土木研究会、ガーデニングクラブ、コンペ部、 建築サイエンス部、設計塾																				
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(令和元年度卒業生) 敷島住宅(株)、(株)三和建設、南海辰村建設(株)、(株)芳栄ホーム、公成建設(株)、(株)小阪工務店		主な学修成果(資格・検定等) ※3	■サークル活動：有 ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和元年度卒業者に関する令和2年5月1日時点の情報)																				
	■就職指導内容 進路に関する就職、進学、大学編入などの進路支援活動を組織的な体制で行っている。キャリアデザインの相談、エントリーシートの書き方、個人面談や面接指導等におけるキャリアサポート支援は全学体制で望んでいる。 ■卒業者数：19人 ■就職希望者数：13人 ■就職者数：13人 ■就職率：100.0% ■卒業者に占める就職者の割合：68.4% ■その他 進学 大学編入：1人 専科2級建築士科：5人 (令和1年度卒業者に関する令和2年5月1日時点の情報)			<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2級建築施工管理技術検定試験(学科)</td> <td>※③</td> <td>34</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>宅地建物取引士</td> <td>③</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>大工技能士3級</td> <td>③</td> <td>11</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>建築概算士補</td> <td>③</td> <td>19</td> <td>19</td> </tr> </tbody> </table> <p>※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)</p> <p>■自由記述欄 技能講習(免許) 玉掛け技能講習、高所作業車運転(10m以上) ガス溶接技能講習他</p> <p>特別教育(講習) アーク溶接特別教育、小型車両系建設機械特別教育 足場の組立等特別教育、クレーン取扱い業務特別教育(5t未満)</p> <p>※建築施工管理技術検定2級学科試験は、国家資格・検定のうち、最終学年または高等学校で該当する専門教育を受けたものが、学科のみ受験可能である。</p>			資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	2級建築施工管理技術検定試験(学科)	※③	34	19	宅地建物取引士	③	1	1	大工技能士3級	③	11	4	建築概算士補	③
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																					
2級建築施工管理技術検定試験(学科)	※③	34	19																					
宅地建物取引士	③	1	1																					
大工技能士3級	③	11	4																					
建築概算士補	③	19	19																					
中途退学の現状	■中途退学者 平成31年4月1日時点において、在学者63名(平成31年4月1日入学者を含む) 令和2年3月31日時点において、在学者59名(令和2年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 家庭の事情、進路変更、一身上の都合		■中退率	6.3%																				
	■中退防止・中退者支援のための取組 担任指導や教員連絡会での情報共有。専門カウンセラーによる面談。																							

<p>経済的支援制度</p>	<p>■学校独自の奨学金・授業料等減免制度：有 特待生制度（建設分野のコンクール等受賞、成績優秀者）、授業料減免制度（生活保護世帯、市町村民税所得割額が非課税、家計急変など） 創立110周年記念奨学金、修成建設専門学校緊急奨学金 ■専門実践教育訓練給付：非給付対象</p>
<p>第三者による学校評価</p>	<p>■民間の評価機関等から第三者評価：有 評価団体：一般社団法人 専門職高等教育質保証機構 受審年月：2018年2月 評価結果を掲載したホームページURL：http://qaphe.com/wp-content/uploads/2017techgraduatesyusei.pdf</p>
<p>当該学科のホームページURL</p>	<p>https://www.syusei.ac.jp/course/dept_renovation.html</p>

（留意事項）

1. 公表年月日（※1）

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況（※2）

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて（通知）（25文科生第596号）」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

（1）「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」における「就職率」の定義について

- ①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。
- ②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。
- ③「就職者」とは、正規の職員（雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいいます。

※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

（2）「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

- ①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。
- ②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う）。

（3）上記のほか、「就職者数（関連分野）」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果（※3）

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他（民間検定等）の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果（例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等）について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1) 教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

企業等の要請を十分に生かしつつ職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成するため、教育課程の編成において、当該企業等との密接な連携により、より実践的な職業教育の質の確保のため組織的に取り組む。

(2) 教育課程編成委員会等の位置付け

委員会は、次の各号に掲げる事項を審議し、本校の職業教育の質の確保を目指す。

- (1) 就職先の業界における人材の専門性に関する動向の把握・分析
- (2) 国又は地域の産業振興の方向性の把握・分析
- (3) 新産業の成長に伴い新たに必要となる実務に関する知識・技術・技能など把握・分析
- (4) 本校の教育が、企業等の要請等を十分に生かした実践的かつ専門的な能力を育成する職業教育が実施できる教育課程の編成
- (5) その他、カリキュラムに関し必要なこと

委員会での審議結果を各学科長、副科長が中心となり教育課程に反映し、校長が決定する。
学校法人修成学園 組織図は、https://www.syusei.ac.jp/jyoho/organization_location.htmlを参照

(3) 教育課程編成委員会等の全委員の名簿

2020年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
田中 義久	大阪府建築士会副会長 株式会社 田中都市建築設計事務所 代表取締役社長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	①
辻 裕樹	大阪府建築士事務所協会 副会長 株式会社匠設計 代表取締役	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	①
井上 久実	日本建築家協会協会 近畿支部 支部長 井上久実設計室 代表	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	①
東 泰紀	公益社団法人 日本建築積算協会 関西支部	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	①
倉方 俊輔	修成建設専門学校教育顧問 大阪市立大学大学院工学研究科准教授	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	②
佐藤 栄一	一般社団法人 日本建築材料協会 常務理事・事務局長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	②
小松原 学	職業訓練法人 全国建設産業教育訓練協会 富士教育訓練センター 校長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	②
大上 哲男	公益財団法人 堺市公園協会 課長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	②
西濱 浩次	修成建設専門学校教育顧問 株式会社コンパス建築工房 代表取締役	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
鍵山 昌信	修成建設専門学校 建築学科教育アドバイザー ア・ティエス環境+建築設計事務所	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
中村 裕輔	一般社団法人日本賞環境デザイン協会 理事 関西支部長 株式会社乃村巧藝社 中部支店クリエイティブ部 部長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
坂入 喜代枝	コーナン建設株式会社 執行役員 人事部長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
市岡 武	村本建設株式会社 取締役常務執行役員	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
壺山 和之	壺山建設株式会社 代表取締役	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
小島 章	株式会社 竹中土木大阪本店 技術・設計部 技術グループ リーダー部長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
富山 毅	株式会社 橋梁コンサルタント 西日本支社長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
榎村 吉高	株式会社 荒木造園設計 部長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③

村松 雄一郎	株式会社 オオバ 大阪支店 まちづくり部 設計課 課長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
森本 和真	株式会社 森本庭園 造園部	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
山下 裕貴	学校法人修成学園 理事長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
堤下 隆司	修成建設専門学校 校長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
見邨 佳朗	修成建設専門学校 副校長 建築CGデザイン学科科長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
谷川 博康	修成建設専門学校 学生相談室室長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
増田 和浩	修成建設専門学校 建築学科長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
鍵谷 啓太	修成建設専門学校 空間デザイン学科科長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
釜友 知世子	修成建設専門学校 専科2級建築士科科長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
樋下 昌俊	修成建設専門学校 住環境リノベーション学科科長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
野瀬 孝男	修成建設専門学校 土木工学科・建設エンジニア学科長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
明石 祥子	修成建設専門学校 ガーデンデザイン学科科長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
上杉 敬史	修成建設専門学校 進路係長	2020年4月1日～2021年3月31日 (1年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4) 教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(開催日時)

- ①年間開催回数：2回 ②開催時期：10月及び2月 ③平成25年度から計12回開催
 第11回 平成30年10月16日(水) 18:00～20:00
 第12回 平成31年 2月12日(火) 18:00～20:30

(5) 教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

カリキュラムを変更し、座学を減らし、実学を増やした結果、現場管理の業務等が非常に理解をしやすくなり、学生からは好評である。2年次に実施する卒業設計での意匠図からの施工図作成も実施している。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する知識、技術、技能を習得・向上するとともに、授業及び学生に対する指導力等の向上を目標としている。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

建設会社の工事現場見学・住宅現場の見学・キャタピラ教習所による資格取得

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
建築製図	製図の基礎、木造、木造3階建住宅、鉄骨造、鉄筋コンクリート造	酒井康雄計画工房
建築実験実習	セメント、骨材、コンクリート、鉄筋、木材、ボルト接合の材料力学性能	日本建築材料協会 他
建築積算学・同演習	建築工事に必要な直接工事費、間接工事費の算出方法	日本建築積算協会 他
建築設計製図	各科目で学習した知識を応用して、設計に必要な考察力及び、設計図書作成に必要な能力を養う	奥田建築設計事務所
建築実務CAD	建設業界に必要なコンピュータを利用する表現、手法を学び、建築に不可欠なCAD、ビジネスソフトの理解、応用を理解する。	藤原建築事務所

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針

「学校法人修成学園就業規則 第9章 第59条」の研修義務に基づき、企業等から講師を招き教員に対し実務に関する知識、技術、工法などについて校内で実施する教育研修会、各種団体等が開催する研修会・セミナーの活用、大学等の教育機関での研修・研究会等で、職業に関連した実務に関する知識、技術及び工法ならび教授法、指導力、キャリア支援教育等、向上のための研修会等に積極的に受講させる。

(2) 研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

期間	主催者	研修内容	対象	参加
6月17日	(一社)日本建築材料協会	建築材料・住宅設備総合展 KENTEN2019	教員	2
6月22日	修成建設専門学校 GATUNクラブ	明治村研修見学会	教員	2
7月6日	大阪府左官工業組合	左官実技・学科講習会	教員	1
7月6日	公益社団法人 竹中大工道具館	研修見学	教員	1
7月30日	株式会社今西組	研修会と見学会	教員	3
12月14日	修成建設専門学校	建築家岡啓輔氏の自力建設を語る講演会	教員	6

②指導力の修得・向上のための研修等

期間	主催者	研修内容	対象	参加
6月17日	大阪市企業人権推進協議会	人権啓発基礎講座	教員	1
8月6日	東京未来大学	教育現場におけるモチベーション 対人コミュニケーションの理解と促進	教員	1
9月18日	大阪市企業人権推進協議会	令和元年度「経営層人権啓発講座」	教員	1
7月13日	学校法人修成学園	高等教育の無償化（修学支援新制度）について	教職員	48
9月21日	学校法人修成学園	外部講師による研修会「Z世代に向けた教育手法とは」	教職員	48
10月5日	全国工業専門学校協会	令和元年度「学生成果報告会」	教員	4
10月28日	キャリアサポートOfficeAOKI	教職員のための指導力向上講座	職員	2
10月30日	大阪府建築士事務所協会	ハラスメント問題の基本的理解と発生防止	教職員	2
10月28日	(一社)大阪府専修学校各種学校連合会	活力のあるクラスづくりのための指導力向上講座	職員	2
11月3日	日本産業カウンセラー協会	事例に学ぶ発達障害の理解と対応	教員	1
11月2日	日本産業カウンセラー協会	メンタルヘルスの理解と対応	教員	1
12月7日	東京未来大学（文部科学省委託事業）	学校を巡る近年の状況と法令改正及び国の動向	教員	1
1月7日	修成建設専門学校	教員研修発表会	教員	40
1月29日	大阪市企業人権推進協議会	労務・人権啓発講座ブロックD	教員	1
2月18日	大阪市企業人権推進協議会	労務・人権啓発講座ブロックE	教員	1

(3) 研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

主催：全国専門学校建築養育連絡協議会 内容：総会・研修会
主催：一般社団法人大阪府建築士事務所協会 研修会・意見交換会
主催：公益社団法人大阪府建築士会 研修会・意見交換会

②指導力の修得・向上のための研修等

主催：修成建設専門学校 内容：教員研修発表会
主催：学校法人修成学園 内容：教職員研修会
主催：大阪府専修学校各種学校連合会 内容：人権教育研修会
主催：大阪府専修学校各種学校連合会 内容：新任教員研修会

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

委員会が、自己評価の結果に基づいて行う学校関係者評価の実施とその結果を公表することにより、適切に説明責任を果たすとともに、学校関係者等から理解と参画を得て、地域におけるステークホルダーと専修学校との連携協力による特色のある学校づくりを進める。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	基準1 教育理念・目標・育人人材像
(2) 学校運営	基準2 学校運営
(3) 教育活動	基準3 教育活動
(4) 学修成果	基準4 学修成果
(5) 学生支援	基準5 学生支援
(6) 教育環境	基準6 教育環境
(7) 学生の受入れ募集	基準7 学生の募集と受け入れ
(8) 財務	基準8 財務
(9) 法令等の遵守	基準9 法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	基準10 社会貢献
(11) 国際交流	基準10 社会貢献

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

- ・インターンシップのフォローアップ体制の強化および新規開拓を実施した。
- ・施工図を読み扱えるような実務に通じるような授業を実施した。
- ・自然災害発生時の初期対応の大切さなど、積極的に業界アピールを行った。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

2019年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
奥田 祐司	在校生の保護者	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	保護者
丸山 徹	卒業生の保護者	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	保護者
相賀 勝	元吹田市役所 理事	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	団体役員
藤田 晴樹	株式会社ジェイネット 代表取締役	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	企業等委員
山崎 充	浅川道路株式会社 代表取締役	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	企業等委員
大槻 憲章	おおさか緑と樹木の診断協会 理事	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	企業等委員
田中 文雄	大和田連合振興町会長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	地域役員
大和 正	学校法人興国学園 興国高等学校 教頭	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	教育関係者
荻野 起三子	修成学園 評議員	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	学園関係者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期
(ホームページ 毎年2月下旬)

URL:<https://www.syusei.ac.jp/jyoho/index.html>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校の概要、目標及び計画や学科の教育をはじめとする様々な情報をホームページだけでなく学校案内、募集要項、求人パンフレット等の刊行物により積極的に公開することとする。
教育課程編成委員会学ならび校関係者評価委員会にも配布・公開し、理解と助言を求めている。教育の質保証、教育の見える化を図ることを基本方針とする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の概要、人材育成像、育成計画
(2) 各学科等の教育	学科の教育
(3) 教職員	組織及び教職員の状況
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育、実践的職業教育
(5) 様々な教育活動・教育環境	様々な教育活動・教育環境
(6) 学生の生活支援	学生の生活支援
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金・修学支援
(8) 学校の財務	学校の財務
(9) 学校評価	学校評価
(10) 国際連携の状況	様々な教育活動・教育環境
(11) その他	その他

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

URL:<https://www.syusei.ac.jp/jyoho/index.html>

授業科目等の概要

(工業専門課程 住環境リノベーション学科) 2020年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			建築製図	製図の基礎、木造、木造3階建て住宅、鉄骨造、鉄筋コンクリート造	1	192	5			○	○		○		
○			建築設計製図	各種建築物の設計	2	192	6		○		○		○		
○			建築実務CAD I	officeソフト、CADの基本操作	1	64	2	△	○		○		○		
○			建築実務CAD II	CADの応用、施工図の作成	2	64	2		○		○		○		
○			建築計画学	設計に必要な、住居建築物の計画、特定建築物の計画	1	64	4	○			○		○		
○			建築環境工学	環境工学概要、日照と日射、室内熱環境、室内照明環境、室内音環境	2	64	4	○			○			○ ○	
○			建築設備工学	給排水設備、衛生設備、室内調和設備、電気設備	2	64	4	○			○		○		
○			建築構造力学・同演習	力の釣合条件、静定骨組の応力、部材応力と変形、静定骨組の変形、不静定構造物の解法	1	128	6	○	△		○		○		
○			建築一般構造学	各種構造の地震や台風等に対処する仕組、構成を学ぶ	1	64	4	○			○			○	

○		建築材料学	建築に使用する素材別材料、用途別材料	1	64	4	○			○			○	○
○		建築実験実習	木材、セメント、骨材、コンクリート、鉄筋、ボルト接合の材料力学性能	1	32	1				○	○		○	
○		建築施工	建築工事の各種工事の名称・手順・工法	1	64	4	○			○			○	○
○		建築積算・同演習	建築工事に必要な数量拾い出しの計算方法・理解	2	64	3	○	△		○			○	○
○		建築法規	建築基準法の単体・集団規定、制度規定、関連法規	2	64	4	○			○			○	
○		ワークショップⅠ	実習を通して、建築工事に必要な名称・手順を理解する	1	64	2	△	○		△	○	○	△	○
○		ワークショップⅡ	実習を通して、建築工事に必要な施工材料・手法を理解する	1	64	2	△	○		△	○	○	△	○
○		ワークショップⅢ	建築物をリノベーションするために必要な施工方法・手順を学ぶ	2	64	2	△	○		△	○	○	△	○
○		ワークショップⅣ	建築物をリノベーションするために必要な安全管理・工程管理を学ぶ	2	64	2	△	○		△	○	○	△	○
○		建築測量学実習	距離測量、水準測量、平板測量、トランシット測量・光波測距儀その他	2	32	1				○	○		○	
○		建築歴史	建築の発生から発展、構造・様式などの歴史を通じて学生が建築技術者として必要な常識を養う	1	64	4	○			○			○	
○		施工特論	工事管理者をして必要な基本の作業を修得する	1	64	3	○	△		○			○	

○		施工実務Ⅰ	工事管理者として必要な施工図の意味・作成方法等を理解修得する	1	64	2	△	○		○	○		
○		施工実務Ⅱ	工事管理者として必要な施工図の意味・作成方法等を理解修得する	2	64	2	△	○		○	○		
○		建築総論Ⅰ	2級建築施工管理技士の学科合格を目指す、基本編	1	64	3	○	△		○	○		
○		建築総論Ⅱ	2級建築施工管理技士の学科合格を目指す、実践編	1	64	3	○	△		○	○		
○		ライセンスⅠ	仕事に必要な資格を取得し、卒業後の工事監理に生かす	1	64	4	○			○		○	
○		ライセンスⅡ	仕事に必要な資格を取得し、卒業後の工事監理に生かす	2	64	4	○			○	○		
○		卒業設計	2年間の学習成果を製作する 施工図コース	2	64	4	○			○	○		
	○	企業実習Ⅰ	企業や団体・機関など実際の職場で働く模擬体験をする	1	40	1				○	○	○	
	○	企業実習Ⅱ	企業や団体・機関など実際の職場で働く模擬体験をする	1	40	1				○	○	○	
		○ 微分積分学Ⅰ	微分法、不定積分法	1	32	2	○			○		○	
		○ 微分積分学Ⅱ	微分方程式、定積分、大学編入対策講座	1	32	2	○			○		○	
		○ 応用数学Ⅰ	解析幾何学、代数学	2	32	2	○			○		○	

		○ 応用数学Ⅱ	方程式の解法、計算法、工学の応用演習	2	32	2	○			○			○
		○ 物理学Ⅰ	質点と剛体の力学、変形体の力	1	32	2	○			○			○
		○ 物理学Ⅱ	大学編入対策講座	1	32	2	○			○			○
		○ 線形代数Ⅰ	マトリックス方程式、行列	2	32	2	○			○			○
		○ 線形代数Ⅱ	工学への応用演習、大学編入対策講座	2	32	2	○			○			○
		○ 工業英語Ⅰ	英文法、英文構造	1	32	2	○			○			○
		○ 工業英語Ⅱ	英文法、英文構造の応用	1	32	2	○			○			○
		○ 工業英語Ⅲ	工業英語文書、営業・契約文書の公式文書	2	32	2	○			○			○
合計			科目	2480単位時間(115単位)									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
3分の2以上の出席。進級に必要な単位の修得。卒業に必要な単位の修得。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	16週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																				
修成建設専門学校	昭和51年4月1日	堤下隆司	〒555-0032 大阪府大阪市西淀川区大和田5-19-30 (電話) 06-6474-1644																				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																				
学校法人修成学園	昭和51年4月1日	山下裕貴	〒555-0032 大阪府大阪市西淀川区大和田5-19-30 (電話) 06-6474-1644																				
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																			
工業	工業専門課程	第1本科(屋)土木工学科	平成6年文部省 告示第84号	なし																			
学科の目的	土木工学とは、英語で「Civil Engineering」つまり「市民のための工学」で、道路、橋梁、トンネル、上下水道、交通、環境などのさまざまなインフラの整備を扱う学問である。土木の発展は人々の生活に深くかかわるだけでなく、景観の面でも注目され、明石海峡大橋などは、その地域のシンボルにもなっている。しかし、阪神大震災や東日本大震災、熊本地震などでは、インフラの壊滅が地域の生活に大きな打撃を与えたことから、昨今では災害に強いインフラネットワークが必要とされている。 本学科は、建設事業の管理業務全般について実務主体の専門技術教育を行い、企画、設計、計画、プレゼンテーション並びに現場環境等をいち早く把握し、さまざまな問題に対応できる現場管理者を養成する。また、設計コンサルタントや公務員への就職、大学への編入学も目指す。																						
認定年月日	平成26年3月31日																						
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																
2年	昼間	1728時間	1732時間	364時間	312時間	時間	時間																
単位時間																							
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																		
60人	66人	3人	4人	8人	12人																		
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日		成績評価	■成績表：有 ■成績評価の基準・方法 授業の出席、課題提出、平常・定期試験などから総合的に評価																			
長期休み	■学年始め：4月1日～4月8日 ■夏季：8月8日～8月16日(令和2年度のみ) ■冬季：12月23日～1月7日 ■学年末：3月26日～3月31日		卒業・進級条件	3分の2以上の出席。 進級に必要な単位の修得。 卒業に必要な単位の修得。																			
学修支援等	■クラス担任制：有 ■個別相談・指導等の対応 長期欠席者への指導等の対応 本人・保護者に電話または郵送にて指導		課外活動	■課外活動の種類 西淀川ものづくりまつり、修成祭、体育大会 建築倶楽部、町屋探偵団、土木研究会、ガーデニングクラブ、コンベ部、建築サイエンス部、設計塾 ■サークル活動：有																			
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(令和元年度卒業生) 奥村組土木興業(株)、古久根建設(株)、大林道路(株)、飛鳥建設(株)、中井商工(株)、(株)昭建		主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和元年度卒業者に関する令和2年5月1日時点の情報)																			
	■就職指導内容 進路に関する就職、進学、大学編入などの進路支援活動を組織的な体制で行っている。キャリアデザインの相談、エントリーシートの書き方、個人面談や面接指導等におけるキャリアサポート支援は全学体制で望んでいる。			<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木施工管理技術検定学科試験2級</td> <td>※③</td> <td>30</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>測量士補</td> <td>③</td> <td>25</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>ビジネス能力検定(B検)3級</td> <td>③</td> <td>30</td> <td>26</td> </tr> </tbody> </table>				資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	土木施工管理技術検定学科試験2級	※③	30	23	測量士補	③	25	8	ビジネス能力検定(B検)3級	③	30	26
	資格・検定名	種別		受験者数	合格者数																		
	土木施工管理技術検定学科試験2級	※③		30	23																		
測量士補	③	25	8																				
ビジネス能力検定(B検)3級	③	30	26																				
■卒業者数：27人 ■就職希望者数：25人 ■就職者数：25人 ■就職率：100.0% ■卒業者に占める就職者の割合：92.6%		※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)																					
■その他 進学 大学編入：1人 専門学校：1人		■自由記述欄 ○橋梁模型製作コンテスト(建設技術展2018近畿)出展 ○職長安全衛生責任者教育 ○特別教育(講習) 小型車両系建設機械運転、締固め用機械 ※土木施工管理技術検定2級学科試験は、国家資格・検定のうち、最終学年または高等学校で該当する専門教育を受けたものが、学科のみ受験可能である。																					
中途退学の現状	■中途退学者 3名 平成31年4月1日時点において、在学者62名(平成31年4月1日入学者を含む) 令和2年3月31日時点において、在学者59名(令和2年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 学業不振、家庭の事情 ■中退防止・中退者支援のための取組 担任指導や教員連絡会での情報共有。専門カウンセラーによる面談。		■中退率	4.8%																			

経済的支援制度	<p>■学校独自の奨学金・授業料等減免制度：有 特待生制度（建設分野のコンクール等受賞、成績優秀者）、授業料減免制度（生活保護世帯、市町村民税所得割額が非課税、家計急変など） 創立110周年記念奨学金、修成建設専門学校緊急奨学金</p> <p>■専門実践教育訓練給付：給付対象</p>
第三者による学校評価	<p>■民間の評価機関等から第三者評価：有 評価団体：一般社団法人 専門職高等教育質保証機構 受審年月：2018年2月 評価結果を掲載したホームページURL：http://qaphe.com/wp-content/uploads/2017techgraduatesyusei.pdf</p>
当該学科のホームページURL	https://www.syusei.ac.jp/course/dept_civil.html

（留意事項）

1. 公表年月日（※1）

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況（※2）

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて（通知）（25文科生第596号）」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

- (1) 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」における「就職率」の定義について
- ①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。
- ②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。
- ③「就職者」とは、正規の職員（雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいいます。

※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

- (2) 「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について
- ①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。
- ②「就職」とは給料、賞金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う）。
- (3) 上記のほか、「就職者数（関連分野）」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果（※3）

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他（民間検定等）の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果（例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等）について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1) 教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

企業等の要請を十分に生かしつつ職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成するため、教育課程の編成において、当該企業等との密接な連携により、より実践的な職業教育の質の確保のため組織的に取り組む。

(2) 教育課程編成委員会等の位置付け

委員会は、次の各号に掲げる事項を審議し、本校の職業教育の質の確保を目指す。

- (1) 就職先の業界における人材の専門性に関する動向の把握・分析
- (2) 国又は地域の産業振興の方向性の把握・分析
- (3) 新産業の成長に伴い新たに必要となる実務に関する知識・技術・技能など把握・分析
- (4) 本校の教育が、企業等の要請等を十分に生かした実践的かつ専門的な能力を育成する職業教育が実施できる教育課程の編成
- (5) その他、カリキュラムに関し必要なこと

委員会での審議結果を各学科長、副科長が中心となり教育課程に反映し、校長が決定する。
学校法人修成学園 組織図は、https://www.syusei.ac.jp/jyoho/organization_location.htmlを参照

(3) 教育課程編成委員会等の全委員の名簿

2020年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
田中 義久	大阪府建築士会副会長 株式会社 田中都市建築設計事務所 代表取締役社長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	①
辻 裕樹	大阪府建築士事務所協会 副会長 株式会社匠設計 代表取締役	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	①
井上 久実	日本建築家協会協会 近畿支部 支部長 井上久実設計室 代表	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	①
東 泰紀	公益社団法人 日本建築積算協会 関西支部	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	①
倉方 俊輔	修成建設専門学校教育顧問 大阪市立大学大学院工学研究科准教授	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	②
佐藤 栄一	一般社団法人 日本建築材料協会 常務理事・事務局長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	②
小松原 学	職業訓練法人 全国建設産業教育訓練協会 富士教育訓練センター 校長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	②
大上 哲男	公益財団法人 堺市公園協会 課長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	②
西濱 浩次	修成建設専門学校教育顧問 株式会社コンパス建築工房 代表取締役	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
鍵山 昌信	修成建設専門学校 建築学科教育アドバイザー ア・ティエス環境+建築設計事務所	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
中村 裕輔	一般社団法人日本賞環境デザイン協会 理事 関西支部長 株式会社乃村巧藝社 中部支店クリエイティブ部 部長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
坂入 喜代枝	コーナン建設株式会社 執行役員 人事部長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
市岡 武	村本建設株式会社 取締役常務執行役員	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
壺山 和之	壺山建設株式会社 代表取締役	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
小島 章	株式会社 竹中土木大阪本店 技術・設計部 技術グループ リーダー部長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
富山 毅	株式会社 橋梁コンサルタント 西日本支社長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
榎村 吉高	株式会社 荒木造園設計 部長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
村松 雄一郎	株式會社 オオバ 大阪支店 まちづくり部 設計課 課長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③

森本 和真	株式会社 森本庭園 造園部	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
山下 裕貴	学校法人修成学園 理事長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
堤下 隆司	修成建設専門学校 校長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
見邨 佳朗	修成建設専門学校 副校長 建築CGデザイン学科科長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
谷川 博康	修成建設専門学校 学生相談室室長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
増田 和浩	修成建設専門学校 建築学科科長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
鍵谷 啓太	修成建設専門学校 空間デザイン学科科長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
釜友 知世子	修成建設専門学校 専科2級建築士学科科長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
樋下 昌俊	修成建設専門学校 住環境リノベーション学科科長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
野瀬 孝男	修成建設専門学校 土木工学科・建設エンジニア学科科長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
明石 祥子	修成建設専門学校 ガーデンデザイン学科科長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
上杉 敬史	修成建設専門学校 進路係長	2020年4月1日～2021年3月31日 (1年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4) 教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(開催日時)

- ①年間開催回数：2回 ②開催時期：10月及び2月 ③平成25年度から計14回開催
 第13回 2019年10月3日18:00～20:00
 第14回 2020年2月5日18:00～20:30

(5) 教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

意見や提案等は、学科長、科目主任を中心に教育課程全体の効果やスケジュールを明確にしている。資格試験への受験機会を広げた。成功体験を積み重ねることで学習意欲を高め、さらに上位資格へのチャレンジへとスキルアップにつなげていく。就職活動時からミスマッチが起こらないよう指導と共にインターンシップへの積極的な参加を促した。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する知識、技術、技能を習得・向上するとともに、授業及び学生に対する指導力等の向上を目標としている。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

企業と連携して春と夏の年2回インターシップを実施している。

また、富士教育訓練センターにおける1週間の宿泊を伴う施工実習を実施し、技術者としての施工管理手法や技術者の倫理教育と日常生活指導を通して管理者としての専門教育と社会人としての人材育成を行っている。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
建設機械工学	建設工事に用いる建設機械の種類・特徴とそれらを用いた施工方法について理解し、管理・監督できる基礎知識を習得する。	キャタピラー教習所株式会社
企業実習	企業実習を通して、設計現場あるいは施工現場にて技術者が仕事に対して取り組む姿勢を学ぶ	竹中土木株式会社
測量実習Ⅰ	測量学Ⅰで習得した知識を基礎として、工事測量における器械・器具の取り扱い、調整・使用法を理解し、測量技能の基本を習得する。	西尾レントオール株式会社
施工学	土工、コンクリート工、基礎工を理解させ、土木の基礎を学ぶ。また、施工管理や専門土木の実務や応用に役たつことを目的とする。	ヤマト工業株式会社
施工実験実習Ⅰ	測量学で学んだ基礎知識を基に、実習を通してより深く理解し、実践できる能力を身に付ける。 材料実験により、各材料の基本的性質を確認するとともに、データ整理および考察できる能力を身に付ける。	中井商工株式会社

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針

「学校法人修成学園就業規則 第9章 第59条」の研修義務に基づき、企業等から講師を招き教員に対し実務に関する知識、技術、工法などについて校内で実施する教育研修会、各種団体等が開催する研修会・セミナーの活用、大学等の教育機関での研修・研究会等で、職業に関連した実務に関する知識、技術及び工法ならび教授法、指導力、キャリア支援教育等、向上のための研修会等に積極的に受講させる。

(2) 研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

期間	主催者	研修内容	対象	参加
6月20日	インフラメンテナンス国民会議	近畿本部フォーラム2019	教員	1
7月30日	近畿高等学校土木教育研究会	情報交換会	教職員	3
8月1日～2日	全国専門学校土木教育研究会	総会並びに研修会	教員	2
8月6日～7日	西日本高等学校土木教育研究会	研修会と見学会	教職員	2
10月23日～24日	(一社) 近畿建設協会	建設技術展2019近畿	教員	5
11月15日	大林道路㈱	対象アスファルト混合所見学研修会	教員	2
11月23日	ブリッジワールド事務局	明石海峡大橋見学研修会	教員	5
11月29日	西尾レントオール㈱	ICT建設機械見学研修会	教員	3
12月10日	奥村組土木興業㈱	新名神高速道路の施工状況、i-constructionの活用	教員	2
1月19日	関西国際空港見学研修	関西国際空港の造成工事について	教員	3
1月29日	株式会社神戸清光システムインストゥルメント	TSを用いたワンマン測量	教員	4

②指導力の修得・向上のための研修等

期間	主催者	研修内容	対象	参加
6月17日	大阪市企業人権推進協議会	人権啓発基礎講座	教員	1
8月6日	東京未来大学	教育現場におけるモチベーション 対人コミュニケーションの理解と促進	教員	1
9月18日	大阪市企業人権推進協議会	令和元年度「経営層人権啓発講座」	教員	1
7月13日	学校法人修成学園	高等教育の無償化（修学支援新制度）について	教職員	48
9月21日	学校法人修成学園	外部講師による研修会「Z世代に向けた教育手法とは」	教職員	48
10月5日	全国工業専門学校協会	令和元年度「学生成果報告会」	教員	4
10月28日	キャリアサポートOfficeAOKI	教職員のための指導力向上講座	職員	2
10月30日	大阪府建築士事務所協会	ハラスメント問題の基本的理解と発生防止	教職員	2
10月28日	(一社)大阪府専修学校各種学校連合会	活力のあるクラスづくりのための指導力向上講座	職員	2
11月3日	日本産業カウンセラー協会	事例に学ぶ発達障害の理解と対応	教員	1
11月2日	日本産業カウンセラー協会	メンタルヘルスの理解と対応	教員	1
12月7日	東京未来大学（文部科学省委託事業）	学校を巡る近年の状況と法令改正及び国の動向	教員	1
1月7日	修成建設専門学校	教員研修発表会	教員	40
1月29日	大阪市企業人権推進協議会	労務・人権啓発講座ブロックD	教員	1
2月18日	大阪市企業人権推進協議会	労務・人権啓発講座ブロックE	教員	1

(3) 研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

主催：全国専門学校土木教育研究会 内容：土木教育研究会全国大会
 主催：日刊建設工業新聞社、(一財)近畿建設協会 内容：建築技術展2019近畿

②指導力の修得・向上のための研修等

主催：修成建設専門学校 教員研修発表会
 主催：学校法人修成学園 教職員研修会
 主催：大阪府専修学校各種学校連合会 人権教育研修会
 主催：大阪府専修学校各種学校連合会 新任教員研修会

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

委員会が、自己評価の結果に基づいて行う学校関係者評価の実施とその結果を公表することにより、適切に説明責任を果たすとともに、学校関係者等から理解と参画を得て、地域におけるステークホルダーと専修学校との連携協力による特色のある学校づくりを進める。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	基準1 教育理念・目標・育成人材像
(2) 学校運営	基準2 学校運営
(3) 教育活動	基準3 教育活動
(4) 学修成果	基準4 学修成果
(5) 学生支援	基準5 学生支援
(6) 教育環境	基準6 教育環境
(7) 学生の受入れ募集	基準7 学生の募集と受け入れ
(8) 財務	基準8 財務
(9) 法令等の遵守	基準9 法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	基準10 社会貢献
(11) 国際交流	基準10 社会貢献

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

・教育活動を充実させるため、新任の教員を新たに配置した。
 ・教員自ら社会のニーズにこたえられるように研修や講習に参加している。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

2019年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
奥田 祐司	在校生の保護者	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	保護者
丸山 徹	卒業生の保護者	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	保護者
相賀 勝	元吹田市役所 理事	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	団体役員
藤田 晴樹	株式会社ジェイネット 代表取締役	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	企業等委員
山崎 充	浅川道路株式会社 代表取締役	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	企業等委員

大規 憲章	おおさか緑と樹木の診断協会 理事	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	企業等委員
田中 文雄	大和田連合振興町会長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	地域役員
大和 正	学校法人興國学園 興國高等学校 教頭	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	教育関係者
荻野 起三子	修成学園 評議員	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	学園関係者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期
(ホームページ 毎年2月下旬)

URL:<https://www.syusei.ac.jp/jyoho/index.html>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校の概要、目標及び計画や学科の教育をはじめとする様々な情報をホームページだけでなく学校案内、募集要項、求人パンフレット等の刊行物により積極的に公開することとする。
教育課程編成委員会学ならび校関係者評価委員会にも配布・公開し、理解と助言を求めている。教育の質保証、教育の見える化を図ることを基本方針とする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の概要、人材育成像、育成計画
(2) 各学科等の教育	学科の教育
(3) 教職員	組織及び教職員の状況
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育、実践的職業教育
(5) 様々な教育活動・教育環境	様々な教育活動・教育環境
(6) 学生の生活支援	学生の生活支援
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金・修学支援
(8) 学校の財務	学校の財務
(9) 学校評価	学校評価
(10) 国際連携の状況	様々な教育活動・教育環境
(11) その他	その他

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

URL:<https://www.syusei.ac.jp/jyoho/index.html>

授業科目等の概要

(工業専門課程 土木学科) 2020年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			CAD製図	製図の基本事項、手書き製図、CAD基礎、CAD製図	1	128	3			○	○		○		
○			測量学Ⅰ	測量学概論、誤差論、距離測量、平板測量、トランシット測量、トラバース測量、水準測量、面積および体積計算	1	64	4	○			○	△	○		
○			測量学Ⅱ	三角測量、路線測量、地形測量、写真測量、地図投影と地図編集	1	64	4	○			○	△	○		
○			材料学	総論、金属材料、セメントおよび混和材料、コンクリート、瀝青材料、その他の材料	1	64	4	○			○		○		
○			構造力学Ⅰ	力とモーメント、材料の力学的性質、断面の性質、静定ばり、梁の応力	1	64	4	○			○		○		
○			水理学	水の性質、静水圧、水の運動、管水路	1	64	4	○			○		○		
○			土質力学	土の基本的知識および土質力学の基礎的事項について理解し、施工学等の関連する分野への応用力を習得する	1	64	4	○			○			○	
○			施工学	施工系に関する諸科目の基礎として、建設工事の施工方法について理論と技術を指導する。また、実物大構造物の施工実習も行っている	1	64	4	○			○		○		○
○			情報処理Ⅰ	情報処理の基礎とセキュリティ、文書作成・表計算・プレゼンテーション資料作成ソフトの活用	1	64	2	△	○		○		○		
○			施工実験実習Ⅰ	測量の概念、水準測量、トランシット測量、トラバース測量、材料実験	1	64	3	△		○	△	○	○		○

○		建設機械工学	建設工事に用いる建設機械の種類・特徴とそれらを用いた施工方法について理解し、管理・監督できる基礎知識を習得する	1	32	2	○			○	△		○	○
○		鉄筋コンクリート工学	基本設計法、各種限界状態設計法に対する検討、許容応力度設計法	2	64	4	○			○			○	
○		施工管理	概説、施工計画、工程管理、安全管理、品質管理、環境保全	2	64	4	○			○			○	
○		情報処理Ⅱ	土木工学におけるコンピューター利用、各種ソフトの応用	2	64	2	△	○		○			○	
○		施工特論	土木一般、土木法規、専門土木、施工管理	2	32	1	○	△		○			○	
○		C A D	情報処理で作成した平面図(2D)を3Dの図面に表現することにより、平面的に描かれている構造物を立体的な構造物で表す能力を習得する	2	64	3		○		○			○	
○		施工実験実習Ⅱ	応用測量・工事測量、総合実習（土質関連試験）	2	64	3	△		○			○	○	○
○		法規	概説、土木行政、施工関連、建設技術者関連	2	32	2	○			○			○	
○		卒業設計	新規道路計画、構造物設計	2	64	4	○			○			○	
○		測量学演習	誤差論、三角測量、多角測量、水準測量、地形測量、写真測量、地図編集、応用測量	1	32	1		○					○	○
○		構造力学演習	演習問題を解くことによる理解（力とモーメント、断面の性質、材料の力学的性質、静定ばり、梁の応力）	1	64	2		○		○			○	
○		建設ビジネス学	技術者に必要なコミュニケーション、ビジネス文書作成	1	32	2	○			○				○
○		総合演習	図学概論、投影図と透視図、土木構造物の製図	1	64	2		○		○			○	○
○		建設マネジメント	概説、取引・仕訳・試算表、決算、建設業の決算、建設業の財務諸表	1	64	4	○			○			○	
○		福祉住環境学	福祉住環境コーディネーター資格取得対策	1	32	2	○			○			○	

○		ワークショップ I	建設業を理解するために企業から技術者等を招き、企業紹介、先端技術、設計、施工管理等について知見を広める	1	32	2	○			○							
○		ワークショップ II	ワークショップ I で得られた知見を具体的にするため、企業訪問、現場見学を実施して理解を深める	2	32	1	△			○	○						
○		構造力学 II	不静定ばり、ラーメン、柱、トラス	2	32	2	○				○						○
○		積算	土木工事の積算と入札・契約	2	64	4	○				○						○
○		橋梁工学	橋梁一般、部材名称、架設工法、溶接、ボルト接合、主桁、床版	2	32	2	○				○						○
○		河海工学	河川の概要、河川調査、河川計画、河川工作物、河川の維持管理、港湾調査、港湾計画、港湾構造物、港湾の維持管理	2	32	2	○				○						○
○		衛生設備工学	上水道、下水道	2	32	2	○				○						○
○		設計演習	各種擁壁の設計計算、H形鋼橋の設計計算、土留工の設計	2	64	2	△	○			○						○
○		社会基盤	交通の概要、道路計画・設計、道路土工、道路舗装工事、鉄道の概要、鉄道線路、運転	2	64	4	○				○						○
○		造園施工 I	植栽、造園管理、建築空間における緑化、法面緑化、公共用緑化、樹木等の規格	2	64	3	△			○	○		△				○
○		造園施工 II	造園施設、石工、組積み工、造園工事、機械施工、設計図書、住宅の外構工事、街路と植樹帯・緑道工事、造園と土木・建築	2	64	3	△			○	○		△				○
○		維持管理学	概説、維持管理手法、材料、プレゼンテーション	2	32	2	○				○						○

○		企業実習	企業実習を通じて、設計現場あるいは施工現場にて技術者が仕事に対して取り組む姿勢を学ぶ	2	40	1	○			○	○		
	○	建築製図	製図の基礎、木造、鉄骨造、鉄筋コンクリート造	1	128	3			○	○		○	
	○	建築計画学	設計に必要な、住居建築物の計画、特定建築物の計画	1	64	4	○			○	○		
	○	建築一般構造学	各種構造の地震や台風等に対処する仕組、構成を学ぶ	1	64	4	○			○	○		
	○	設計製図	各種建築物の計画・設計	2	128	4		○		○	○		
	○	インテリア	家具作りの基礎、内装の表現方法、インテリアプランナー試験対策	2	64	3	○	△		○	○		
	○	建築環境工学	環境工学概説、日照と日射、室内熱環境、室内空気環境、室内照明環境、室内音環境	2	32	2	○			○	○		
	○	建築法規	建築基準法の単体・集団規定、制度規定、関連法規	2	64	4	○			○	○		
	○	建築設備工学	給排水設備、衛生設備、室内調和設備、電気設備	2	32	2	○			○	○		
		○ 微分積分学Ⅰ	微分法、不定積分法	1	32	2	○			○	○		
		○ 微分積分学Ⅱ	微分方程式、定積分、大学編入対策講座	1	32	2	○			○	○		
		○ 応用数学Ⅰ	解析幾何学、代数学	2	32	2	○			○	○		
		○ 応用数学Ⅱ	方程式の解法、計算法、工学の応用演習	2	32	2	○			○	○		
		○ 物理学Ⅰ	質点と剛体の力学、変形体の力	1	32	2	○			○	○		
		○ 物理学Ⅱ	大学編入対策講座	1	32	2	○			○	○		
		○ 線形代数Ⅰ	マトリックス方程式、行列	2	32	2	○			○	○		
		○ 線形代数Ⅱ	工学への応用演習、大学編入対策講座	2	32	2	○			○	○		

		○	工業英語Ⅰ	英文法、英文構造	1	32	2	○			○		○		
		○	工業英語Ⅱ	英文法、英文構造の応用	1	32	2	○			○		○		
		○	工業英語Ⅲ	工業英語文書、営業・契約文書の公式文書	2	32	2	○			○		○		
合計			科目		2984単位時間(152単位)										

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
3分の2以上の出席。進級に必要な単位の修得。卒業に必要な単位の修得。		1 学年の学期区分	2期
		1 学期の授業期間	16週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																				
修成建設専門学校	昭和51年4月1日	堤下隆司	〒555-0032 大阪府大阪市西淀川区大和田5-19-30 (電話) 06-6474-1644																				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																				
学校法人修成学園	昭和51年4月1日	山下裕貴	〒555-0032 大阪府大阪市西淀川区大和田5-19-30 (電話) 06-6474-1644																				
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士																		
工業	工業専門課程	第1本科(昼)建設エンジニア学科		平成20年文部科学省 告示第11号	なし																		
学科の目的	建設業は、防災・減災、老朽化対策、耐震化、インフラの維持管理に関し、その果たすべき役割はますます増大している。そういった中で建設業は、全産業を大幅に上回るペースで高齢化が進展しており、将来にわたる若手技術者の確保・育成を中心とした将来の担い手確保が重要な課題となっている。本学科は、土木分野の中でも施工に特化し、特に建設機械のオペレータとしての技能を習得し、さらに建設現場にて職長・安全衛生責任者等として建設事業の調査、設計、施工、監督・検査、維持管理という建設生産プロセスのうち「施工」に注目して情報化施工に即応できる技術者を養成する。																						
認定年月日	平成26年3月31日																						
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																
2年	昼間	1728時間	1199時間	545時間	534時間	時間	時間																
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内数)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																	
50人		27人	0人	6人	6人	12人																	
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日			成績評価	■成績表：有 ■成績評価の基準・方法 授業の出席、課題提出、平常・定期試験などから総合的に評価																		
長期休み	■学年始め：4月1日～4月8日 ■夏季：8月8日～8月16日(令和2年度のみ) ■冬季：12月23日～1月7日 ■学年末：3月26日～3月31日			卒業・進級条件	3分の2以上の出席。 進級に必要な単位の修得。 卒業に必要な単位の修得。																		
学修支援等	■クラス担任制：有 ■個別相談・指導等の対応 長期欠席者への指導等の対応 本人・保護者に電話または郵送にて指導			課外活動	■課外活動の種類 西淀川ものづくりまつり、修成祭、体育大会、建設技術展 建築倶楽部、町屋探偵団、土木研究会、ガーデニングクラブ、コンペ部、建築サイエンス部、設計塾 ■サークル活動：有 ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成30年度卒業生に関する令和元年5月1日時点の情報)																		
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(令和元年度卒業生) (株)富島建設、壺山建設(株)、ヤマト工業(株)、奥村組土木興業(株)、太平洋基礎工業(株)、(株)大松土建			主な学修成果(資格・検定等) ※3	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2級土木施工管理技術検定 学科試験</td> <td>※③</td> <td>11</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>ビジネス能力検定(B検) 3級</td> <td>③</td> <td>11</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	2級土木施工管理技術検定 学科試験	※③	11	9	ビジネス能力検定(B検) 3級	③	11	4				
	資格・検定名	種別	受験者数		合格者数																		
	2級土木施工管理技術検定 学科試験	※③	11		9																		
ビジネス能力検定(B検) 3級	③	11	4																				
■就職指導内容 進路に関する就職、進学、大学編入などの進路支援活動を組織的な体制で行っている。キャリアデザインの相談、エントリーシートの書き方、個人面談や面接指導等におけるキャリアサポート支援は全学体制で望んでいる。			※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)																				
■卒業者数：14人 ■就職希望者数：14人 ■就職者数：13人 ■就職率：92.9% ■卒業者に占める就職者の割合：92.9% ■その他 特になし			■自由記述欄 ※土木施工管理技術検定2級学科試験は、国家資格・検定のうち、最終学年または高等学校で該当する専門教育を受けたものが、学科のみ受験可能である。 橋梁模型製作コンテスト(建設技術展2018近畿)出展 技能講習(免許) ○車両系建設機械運転 ○玉掛け、小型移動式クレーン、ガス溶接他 ○特別教育(講習) アーク溶接、締め用機械 足場特別教育、高所作業車(10m未満)他																				
(令和1年度卒業生に関する 令和2年5月1日時点の情報)																							
中途退学の現状	■中途退学者 2名 平成31年4月1日時点において、在学者29名(平成31年4月1日入学者を含む) 令和2年3月31日時点において、在学者27名(令和2年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の原因 家庭の事情、一身上の都合			■中退率	6.9%																		
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度：有 特待生制度(建設分野のコンクール等受賞、成績優秀者)、授業料減免制度(生活保護世帯、市町村民税所得割額が非課税、家計急変など) 創立110周年記念奨学金、修成建設専門学校緊急奨学金 ■専門実践教育訓練給付：給付対象																						

<p>第三者による 学校評価</p>	<p>■民間の評価機関等から第三者評価：有 評価団体：一般社団法人 専門職高等教育保証機構 受審年月：2018年2月 評価結果を掲載したホームページURL：http://qaphe.com/wp-content/uploads/2017techgraduatesyusei.pdf</p>
<p>当該学科の ホームページ URL</p>	<p>https://www.syusei.ac.jp/course/dept_engineer.html</p>

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1) 教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

企業等の要請を十分に生かしつつ職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成するため、教育課程の編成において、当該企業等との密接な連携により、より実践的な職業教育の質の確保のため組織的に取り組む。

(2) 教育課程編成委員会等の位置付け

委員会は、次の各号に掲げる事項を審議し、本校の職業教育の質の確保を目指す。

- (1) 就職先の業界における人材の専門性に関する動向の把握・分析
- (2) 国又は地域の産業振興の方向性の把握・分析
- (3) 新産業の成長に伴い新たに必要となる実務に関する知識・技術・技能など把握・分析
- (4) 本校の教育が、企業等の要請等を十分に生かした実践的かつ専門的な能力を育成する職業教育が実施できる教育課程の編成
- (5) その他、カリキュラムに関し必要なこと

委員会での審議結果を各学科長、副科長が中心となり教育課程に反映し、校長が決定する。

学校法人修成学園 組織図は、https://www.syusei.ac.jp/jyoho/organization_location.htmlを参照

(3) 教育課程編成委員会等の全委員の名簿

2019年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
田中 義久	大阪府建築士会副会長 株式会社 田中都市建築設計事務所 代表取締役社長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	①
辻 裕樹	大阪府建築士事務所協会 副会長 株式会社匠設計 代表取締役	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	①
井上 久実	日本建築家協会協会 近畿支部 支部長 井上久実設計室 代表	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	①
東 泰紀	公益社団法人 日本建築積算協会 関西支部	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	①
倉方 俊輔	修成建設専門学校教育顧問 大阪市立大学大学院工学研究科准教授	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	②
佐藤 栄一	一般社団法人 日本建築材料協会 常務理事・事務局長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	②
小松原 学	職業訓練法人 全国建設産業教育訓練協会 富士教育訓練センター 校長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	②
大上 哲男	公益財団法人 堺市公園協会 課長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	②
西濱 浩次	修成建設専門学校教育顧問 株式会社コンパス建築工房 代表取締役	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
鍵山 昌信	修成建設専門学校 建築学科教育アドバイザー ア・ティエス環境+建築設計事務所	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
中村 裕輔	一般社団法人日本賞環境デザイン協会 理事 関西支部長 株式会社乃村巧藝社 中部支店クリエイティブ部 部長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
坂入 喜代枝	コーナン建設株式会社 執行役員 人事部長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
市岡 武	村本建設株式会社 取締役常務執行役員	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
壺山 和之	壺山建設株式会社 代表取締役	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
小島 章	株式会社 竹中土木大阪本店 技術・設計部 技術グループ リーダー部長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
富山 毅	株式会社 橋梁コンサルタント 西日本支社長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
榎村 吉高	株式会社 荒木造園設計 部長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③

村松 雄一郎	株式会社 オオバ 大阪支店 まちづくり部 設計課 課長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
森本 和真	株式会社 森本庭園 造園部	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
山下 裕貴	学校法人修成学園 理事長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
堤下 隆司	修成建設専門学校 校長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
見邨 佳朗	修成建設専門学校 副校長 建築CGデザイン学科科長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
谷川 博康	修成建設専門学校 学生相談室室長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
増田 和浩	修成建設専門学校 建築学科長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
鍵谷 啓太	修成建設専門学校 空間デザイン学科科長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
釜友 知世子	修成建設専門学校 専科2級建築士科科長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
樋下 昌俊	修成建設専門学校 住環境リノベーション学科科長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
野瀬 孝男	修成建設専門学校 土木工学科・建設エンジニア学科長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
明石 祥子	修成建設専門学校 ガーデンデザイン学科科長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
上杉 敬史	修成建設専門学校 進路係長	2020年4月1日～2021年3月31日 (1年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4) 教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(開催日時)

- ①年間開催回数：2回 ②開催時期：10月及び2月 ③平成25年度から計14回開催
 第13回 2019年10月3日18:00～20:00
 第14回 2020年2月5日18:00～20:30

(5) 教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

意見や提案等は、学科長、科目主任を中心に教育課程全体の効果やスケジュールを明確にしている。資格試験への受験機会を広げた。成功体験を積み重ねることで学習意欲を高め、さらに上位資格へのチャレンジへとスキルアップにつなげていく。就職活動時からミスマッチが起こらないよう指導と共にインターンシップへの積極的な参加を促した。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する知識、技術、技能を習得・向上するとともに、授業及び学生に対する指導力等の向上を目標としている。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

企業と連携して春と夏の年2回インターンシップを実施している。また、富士教育訓練センターにおける1週間の宿泊を伴う施工実習を実施し、技術者としての施工管理手法や技術者の倫理教育と日常生活指導を通して管理者としての専門教育と社会人としての人材育成を行っている。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
安全教育実習	機械施工の基礎知識、建設機械の一般事項、建設機械の安全教育、特別教育及び技能講習	キャタピラー教習所株式会社

土質力学	土の基本的知識および土質力学の基礎的事項について理解し、施工学等の関連する分野への応用力を習得する	竹中土木株式会社
測量実習Ⅰ	測量学Ⅰで習得した知識を基礎として、工事測量における器械・器具の取り扱い、調整・使用法を理解し、測量技能の基本を習得する。	西尾レントオール株式会社
施工学	土工、コンクリート工、基礎工を理解させ、土木の基礎を学ぶ。また、施工管理や専門土木の実務や応用に役たつことを目的とする。	ヤマト工業株式会社
施工実験実習Ⅰ	測量学で学んだ基礎知識を基に、実習を通してより深く理解し、実践できる能力を身に付ける。 材料実験により、各材料の基本的性質を確認するとともに、データ整理および考察できる能力を身に付ける。	中井商工株式会社

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針

「学校法人修成学園就業規則 第9章 第59条」の研修義務に基づき、企業等から講師を招き教員に対し実務に関する知識、技術、工法などについて校内で実施する教育研修会、各種団体等が開催する研修会・セミナーの活用、大学等の教育機関での研修・研究会等で、職業に関連した実務に関する知識、技術及び工法ならび教授法、指導力、キャリア支援教育等、向上のための研修会等に積極的に受講させる。

(2) 研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

期間	主催者	研修内容	対象	参加
6月20日	インフラメンテナンス国民会議	近畿本部フォーラム2019	教員	1
7月30日	近畿高等学校土木教育研究会	情報交換会	教職員	3
8月1日～2日	全国専門学校土木教育研究会	総会並びに研修会	教員	2
8月6日～7日	西日本高等学校土木教育研究会	研修会と見学会	教職員	2
10月23日～24日	(一社) 近畿建設協会	建設技術展2019近畿	教員	5
11月15日	大林道路㈱	対象アスファルト混合所見学研修会	教員	2
11月23日	ブリッジワールド事務局	明石海峡大橋見学研修会	教員	5
11月29日	西尾レントオール㈱	ICT建設機械見学研修会	教員	3
12月10日	奥村組土木興業㈱	新名神高速道路の施工状況、i-constructionの活用	教員	2
1月19日	関西国際空港見学研修	関西国際空港の造成工事について	教員	3
1月29日	株式会社神戸清光システムインストルメント	TSを用いたワンマン測量	教員	4

②指導力の修得・向上のための研修等

期間	主催者	研修内容	対象	参加
6月17日	大阪市企業人権推進協議会	人権啓発基礎講座	教員	1
8月6日	東京未来大学	教育現場におけるモチベーション 対人コミュニケーションの理解と促進	教員	1
9月18日	大阪市企業人権推進協議会	令和元年度「経営層人権啓発講座」	教員	1
7月13日	学校法人修成学園	高等教育の無償化（修学支援新制度）について	教職員	48
9月21日	学校法人修成学園	外部講師による研修会「Z世代に向けた教育手法とは」	教職員	48
10月5日	全国工業専門学校協会	令和元年度「学生成果報告会」	教員	4
10月28日	キャリアサポートOfficeAOKI	教職員のための指導力向上講座	職員	2
10月30日	大阪府建築士事務所協会	ハラスメント問題の基本的理解と発生防止	教職員	2
10月28日	(一社) 大阪府専修学校各種学校連合会	活力のあるクラスづくりのための指導力向上講座	職員	2
11月3日	日本産業カウンセラー協会	事例に学ぶ発達障害の理解と対応	教員	1
11月2日	日本産業カウンセラー協会	メンタルヘルスの理解と対応	教員	1
12月7日	東京未来大学（文部科学省委託事業）	学校を巡る近年の状況と法令改正及び国の動向	教員	1
1月7日	修成建設専門学校	教員研修発表会	教員	40
1月29日	大阪市企業人権推進協議会	労務・人権啓発講座ブロックD	教員	1
2月18日	大阪市企業人権推進協議会	労務・人権啓発講座ブロックE	教員	1

(3) 研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

主催：全国専門学校土木教育研究会 内容：土木教育研究会全国大会

②指導力の修得・向上のための研修等

主催：修成建設専門学校 教員研修発表会

主催：学校法人修成学園 教職員研修会

主催：大阪府専修学校各種学校連合会 人権教育研修会

主催：大阪府専修学校各種学校連合会 新任教員研修会

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること

(1) 学校関係者評価の基本方針

委員会が、自己評価の結果に基づいて行う学校関係者評価の実施とその結果を公表することにより、適切に説明責任を果たすとともに、学校関係者等から理解と参画を得て、地域におけるステークホルダーと専修学校との連携協力による特色のある学校づくりを進める。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	基準1 教育理念・目標・育成人材像
(2) 学校運営	基準2 学校運営
(3) 教育活動	基準3 教育活動
(4) 学修成果	基準4 学修成果
(5) 学生支援	基準5 学生支援
(6) 教育環境	基準6 教育環境
(7) 学生の受入れ募集	基準7 学生の募集と受け入れ
(8) 財務	基準8 財務
(9) 法令等の遵守	基準9 法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	基準10 社会貢献
(11) 国際交流	基準10 社会貢献

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

- ・技能講習・特別教育等の資格取得に関し、社会のニーズに適合するものを年度毎に検討している。
- ・教育活動を充実させるため、新任の教員を新たに配置した。
- ・教員自ら社会のニーズにこたえられるように研修や講習に参加している。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

2020年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
奥田 祐司	在校生の保護者	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	保護者
丸山 徹	卒業生の保護者	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	保護者
相賀 勝	元吹田市役所 理事	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	団体役員
藤田 晴樹	株式会社ジェイネット 代表取締役	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	企業等委員
山崎 充	浅川道路株式会社 代表取締役	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	企業等委員
大槻 憲章	おおさか緑と樹木の診断協会 理事	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	企業等委員
田中 文雄	大和田連合振興町会長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	地域役員
大和 正	学校法人興国学園 興國高等学校 教頭	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	教育関係者
苅野 起三子	修成学園 評議員	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	学園関係者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ 毎年2月下旬)

URL:<https://www.syusei.ac.jp/jyoho/index.html>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校の概要、目標及び計画や学科の教育をはじめとする様々な情報をホームページだけでなく学校案内、募集要項、求人パンフレット等の刊行物により積極的に公開している。

教育課程編成委員会ならび学校関係者評価委員会にも配布・公開し、理解と助言を求めている。教育の質保証、教育の見える化を図ることを基本方針とする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の概要、人材育成像、育成計画
(2) 各学科等の教育	学科の教育
(3) 教職員	組織及び教職員の状況
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育、実践的職業教育
(5) 様々な教育活動・教育環境	様々な教育活動・教育環境
(6) 学生の生活支援	学生の生活支援
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金・修学支援
(8) 学校の財務	学校の財務
(9) 学校評価	学校評価
(10) 国際連携の状況	様々な教育活動・教育環境
(11) その他	その他

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

URL:<https://www.syusei.ac.jp/jyoho/index.html>

授業科目等の概要

(工業専門課程建設エンジニア学科) 2020年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			CAD製図	製図の基本事項、手書き製図、CAD基礎、CAD製図	1	128	3			○	○		○	○	
○			測量学Ⅰ	測量学概論、誤差論、距離測量、平板測量、トランシット測量、トラバース測量、水準測量、面積および体積計算	1	64	4	○			○	△	○	○	
○			測量学Ⅱ	三角測量、路線測量、地形測量、写真測量、地図投影と地図編集	1	64	4	○			○	△	○	○	
○			材料学	総論、金属材料、セメントおよび混和材料、コンクリート、瀝青材料、その他の材料	1	64	4	○			○		○		
○			建設構造力学	力とモーメント、材料の力学的性質、断面の性質、静定ばり、梁の応力	1	64	4	○			○		○		
○			土質力学	土の基本的知識および土質力学の基礎的事項について理解し、施工学等の関連する分野への応用力を習得する	1	64	4	○			○		○		
○			施工学	施工系に関する諸科目の基礎として、建設工事の施工方法について理論と技術を指導する。また、実物大構造物の施工実習も行っている	1	64	4	○			○		○		
○			情報処理Ⅰ	情報処理の基礎とセキュリティ、文書作成・表計算・プレゼンテーション資料作成ソフトの活用	1	64	2	△	○		○		○		
○			施工実験実習Ⅰ	測量の概念、水準測量、トランシット測量、トラバース測量、材料実験	1	64	3	△		○	○		○	○	

○		安全教育実習	機械施工の基礎知識、建設機械の一般事項、建設機械の安全教育、特別教育および技能講習	1	160	4	△		○	○	○	○	
○		造園施工Ⅰ	植栽、造園管理、建築空間における緑化、法面緑化、公共用緑化、樹木等の規格	2	64	3	△		○	○	△	○	○
○		建設機械工学	建設工事に用いる建設機械の種類・特徴とそれらを用いた施工方法について理解し、管理・監督できる基礎知識を習得する	1	32	2	○			○		○	○
○		水理学	水の性質、静水圧、水の運動、管水路	1	64	4	○			○		○	
○		施工管理	概説、施工計画、工程管理、安全管理、品質管理、環境保全	2	64	4	○			○		○	○
○		情報処理Ⅱ	土木工学におけるコンピューター利用、各種ソフトの応力、	2	64	2	△	○		○		○	
○		施工特論	土木一般、土木法規、専門土木、施工管理	2	32	1	△		○	○		○	
○		施工管理演習	職長教育、安全衛生責任者教育、特別教育および技能講習	2	160	4		○		△	○	○	○
○		C A D	情報処理で作成した平面図(2D)を3Dの図面に表現することにより、平面的に描かれている構造物を立体的な構造物で表す能力を習得する	2	64	2		○		○		○	
○		造園施工Ⅱ	造園施設、石工、組積み工、造園工事、機械施工、設計図書、住宅の外構工事、街路と植樹帯・緑道工事、造園と土木・建築	2	64	3	△		○	△	○	○	○
○		施工実験実習Ⅱ	造園施設、石工、組積み工、造園工事、機械施工、設計図書、住宅の外構工事、街路と植樹帯・緑道工事、造園と土木・建築	2	64	3		○		△	○	○	
○		法規	概説、土木行政、施工関連、建設技術者関連	2	32	2	○			○		○	
○		卒業設計	新規道路計画、構造物設計	2	64	4	○			○		○	

	○	建設ビジネス	技術者に必要なコミュニケーション、 ビジネス文書作成	1	32	2	○			○			○
	○	ワークショップI	建設業を理解するために企業から技術 者等を招き、企業紹介、先端技術、設 計、施工管理等について知見を広める	1	32	2	○			○			○
	○	総合演習	図学概論、投影図と透視図、土木構造 物の製図	1	64	2		○		○			○
	○	ワークショップII	ワークショップIで得られた知見を具 体的にするため、企業訪問、現場見学 を実施して理解を深める	2	32	1	○	△		○			○
	○	積算	土木工事の積算と入札・契約	2	64	4	○			○			○
	○	建設マネジメ ント	概説、取引・仕訳・試算表、決算、建 設業の決算、建設業の財務諸表	1	64	4	○			○			○
	○	維持管理学	概説、維持管理手法、材料、プレゼン テーション	2	32	2	○			○			○
	○	企業実習	企業実習を通じて設計現場あるいは施 工現場にて技術者が仕事に対して取り 組む姿勢を学ぶ	2	70	2		○					○
	○	建築製図	製図の基礎、木造、木造2階建住宅、鉄 骨造、鉄筋コンクリート造	1	128	3		○		○			○
	○	建築計画学	設計に必要な、住居建築物の計画、特 定建築物の計画	1	64	4	○			○			○
	○	建築一般構造 学	各種構造の地震や台風等に対処する仕 組、構成を学ぶ	1	64	4	○			○			○
	○	設計製図	各種建築物の計画・設計	2	128	4		○		○			○
	○	インテリア	家具作りの基礎、内装の表現方法、イ ンテリアプランナー試験対策	2	64	3	○	△		○			○
	○	建築環境工学	環境工学概説、日照と日射、室内熱環 境、室内空気環境、室内照明環境、室 内音環境	2	64	2	○			○			○

	○	建築法規	建築基準法の単体・集団規定、制度規定、関連法規	1	64	4	○			○	○		
	○	建築設備工学	給排水設備、衛生設備、空気調和設備、電気設備	2	32	2	○			○	○		
	○	微分積分学Ⅰ	微分法、不定積分法	1	32	2	○			○	○		
	○	微分積分学Ⅱ	微分方程式、定積分、大学編入対策講座	1	32	2	○			○	○		
	○	応用数学Ⅰ	解析幾何学、代数学	2	32	2	○			○	○		
	○	応用数学Ⅱ	方程式の解法、計算法、工学の応用演習	2	32	2	○			○	○		
	○	物理学Ⅰ	質点と剛体の力学、変形体の力	1	32	2	○			○	○		
	○	物理学Ⅱ	大学編入対策講座	1	32	2	○			○	○		
	○	線形代数Ⅰ	マトリックス方程式、行列	2	32	2	○			○	○		
	○	線形代数Ⅱ	工学への応用演習、大学編入対策講座	2	32	2	○			○	○		
	○	工業英語Ⅰ	英文法、英文構造	1	32	2	○			○	○		
	○	工業英語Ⅱ	英文法、英文構造の応用	1	32	2	○			○	○		
	○	工業英語Ⅲ	工業英語文書、営業・契約文書の公式文書	2	32	2	○			○	○		
合計				科目				2918単位時間(137単位)					

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
3分の2以上の出席。進級に必要な単位の修得。卒業に必要な単位の修得。		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	16週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																			
修成建設専門学校	昭和51年4月1日	堤下隆司	〒555-0032 大阪府大阪市西淀川区大和田5-19-30 (電話) 06-6474-1644																			
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																			
学校法人修成学園	昭和51年4月1日	山下裕貴	〒555-0032 大阪府大阪市西淀川区大和田5-19-30 (電話) 06-6474-1644																			
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士																	
工業	工業専門課程	第1本科(昼) ガーデンデザイン学科		平成17年文部科学省 告示第32号	なし																	
学科の目的	緑化造園とは、景観美を追求するだけでなく、人々に安らぎや癒しを与え、快適な生活空間を提供する。そして昨今、世界的な異常気象や環境問題に直面し、人類と地球の未来のために環境保護や緑化推進における幅広い知識を持った造園技術者がこれまで以上に必要とされている。本学科は、緑化造園分野において高い志のある学生を歓迎し、緑の景観形成を通じて“植物を護り増やし育てる”をキーワードに、民間企業や緑化事業を推進する自治体、また近隣地域とも連携を図った実践教育を大きな柱とする。「人材育成」「専門教育」の両立として、高度な「環境緑化技術」と「ものづくり」を体得すると共に、マナー教育及びコミュニケーション能力の習得に力を注ぎ、社会が求める技術力、行動力、即戦力を兼ね備えた良識ある造園技術者の育成を目指す。カリキュラムは「ものづくり」の計画から完成に至る一連の工程を実務に即した流れで講義・演習・実習科目を順序立てて構成。授業に於いては常に学生に発言を求め学生同志の議論を促しPDCAサイクルを基本とした先進、改革、実学の教育を実施できる就学環境を整えている。																					
認定年月日	平成26年3月31日																					
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験																
2年	昼間	1728時間	1635時間	363時間	410時間	時間																
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内数)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																	
50人	44人	7人	3人	5人	8人																	
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日		成績評価	■成績表：有 ■成績評価の基準・方法 授業の出席、課題提出、平常・定期試験などから総合的に評価																		
長期休み	■学年始め：4月1日～4月8日 ■夏季：8月8日～8月16日(令和2年度のみ) ■冬季：12月23日～1月7日 ■学年末：3月26日～3月31日		卒業・進級条件	3分の2以上の出席。 進級に必要な単位の修得。 卒業に必要な単位の修得。																		
学修支援等	■クラス担任制：有 ■個別相談・指導等の対応 長期欠席者への指導等の対応 本人・保護者に電話または郵送にて指導		課外活動	■課外活動の種類 西淀川ものづくりまつり、修成祭、体育大会 建築倶楽部、町屋探偵団、土木研究会、ガーデニングクラブ、コンペ部、建築サイエンス部 ■サークル活動：有																		
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(令和元年度卒業生) 阪神園芸(株)、(株)小林造園、ファミリー庭園(株)、(株)kei'sオーセブン(株)、(株)グリーンライフ ■就職指導内容 進路に関する就職、進学、大学編入などの進路支援活動を組織的な体制で行っている。キャリアデザインの相談、エントリーシート等の書き方、個人面談や面接指導等におけるキャリアサポート支援は全学体制で望んでいる。 ■卒業生数：21人 ■就職希望者数：20人 ■就職者数：19人 ■就職率：95.0% ■卒業者に占める就職者の割合：90.5% ■その他 進学 大学編入：1人 (令和1年度卒業者に関する令和2年5月1日時点の情報)		主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等(令和元年度卒業者に関する令和2年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2級造園施工管理技術検定学科試験</td> <td>※③</td> <td>20</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>造園技能士2級</td> <td>③</td> <td>9</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>造園技能士3級</td> <td>③</td> <td>27</td> <td>26</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 西淀川区主催の園芸セミナー 堺公園協会との官学連携 株式会社四国化成工業との商品開発 大阪市大和田北公園の環境美化活動(遊歩道整備・樹木剪定・清掃) テクノステージ和泉(銀シャリ上越屋)での管理実習 ※造園施工管理技術検定2級学科試験は、国家資格・検定のうち、最終学年または高等学校で該当する専門教育を受けたものが、学科のみ受験可能である。			資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	2級造園施工管理技術検定学科試験	※③	20	17	造園技能士2級	③	9	3	造園技能士3級	③	27	26
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																			
2級造園施工管理技術検定学科試験	※③	20	17																			
造園技能士2級	③	9	3																			
造園技能士3級	③	27	26																			
中途退学の現状	■中途退学者 1名 平成31年4月1日時点において、在学者43名(平成31年4月1日入学者を含む) 令和2年3月31日時点において、在学者42名(令和2年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 ■中退率 2.3%		■中退防止・中退者支援のための取組 担任指導や教員連絡会での情報共有。専門カウンセラーによる面談。																			

経済的支援制度	<p>■学校独自の奨学金・授業料等減免制度：有 特待生制度（建設分野のコンクール等受賞、成績優秀者）、授業料減免制度（生活保護世帯、市町村民税所得割額が非課税、家計急変など） 創立110周年記念奨学金、修成建設専門学校緊急奨学金</p> <p>■専門実践教育訓練給付：給付対象</p>
第三者による学校評価	<p>■民間の評価機関等から第三者評価：有 評価団体：一般社団法人 専門職高等教育質保証機構 受審年月：2018年2月 評価結果を掲載したホームページURL：http://qaphe.com/wp-content/uploads/2017techgraduatesyusei.pdf</p>
当該学科のホームページURL	<p>https://www.syusei.ac.jp/course/dept_garden.html</p>

（留意事項）

1. 公表年月日（※1）

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況（※2）

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて（通知）（25文科生第596号）」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

（1）「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。

③「就職者」とは、正規の職員（雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいいます。

※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

（2）「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う）。

（3）上記のほか、「就職者数（関連分野）」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果（※3）

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他（民間検定等）の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果（例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等）について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1) 教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

企業等の要請を十分に生かしつつ職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成するため、教育課程の編成において、当該企業等との密接な連携により、より実践的な職業教育の質の確保のため組織的に取り組む。

(2) 教育課程編成委員会等の位置付け

委員会は、次の各号に掲げる事項を審議し、本校の職業教育の質の確保を目指す。

- (1) 就職先の業界における人材の専門性に関する動向の把握・分析
- (2) 国又は地域の産業振興の方向性の把握・分析
- (3) 新産業の成長に伴い新たに必要となる実務に関する知識・技術・技能など把握・分析
- (4) 本校の教育が、企業等の要請等を十分に生かした実践的かつ専門的な能力を育成する職業教育が実施できる教育課程の編成
- (5) その他、カリキュラムに関し必要なこと

委員会での審議結果を各学科長、副科長が中心となり教育課程に反映し、校長が決定する。
学校法人修成学園 組織図は、https://www.syusei.ac.jp/jyoho/organization_location.htmlを参照

(3) 教育課程編成委員会等の全委員の名簿

2020年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
田中 義久	大阪府建築士会副会長 株式会社 田中都市建築設計事務所 代表取締役社長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	①
辻 裕樹	大阪府建築士事務所協会 副会長 株式会社匠設計 代表取締役	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	①
井上 久実	日本建築家協会協会 近畿支部 支部長 井上久実設計室 代表	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	①
東 泰紀	公益社団法人 日本建築積算協会 関西支部	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	①
倉方 俊輔	修成建設専門学校教育顧問 大阪市立大学大学院工学研究科准教授	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	②
佐藤 栄一	一般社団法人 日本建築材料協会 常務理事・事務局長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	②
小松原 学	職業訓練法人 全国建設産業教育訓練協会 富士教育訓練センター 校長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	②
大上 哲男	公益財団法人 堺市公園協会 課長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	②
西濱 浩次	修成建設専門学校教育顧問 株式会社コンパス建築工房 代表取締役	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
鍵山 昌信	修成建設専門学校 建築学科教育アドバイザー ア・ティエス環境+建築設計事務所	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
中村 裕輔	一般社団法人日本賞環境デザイン協会 理事 関西支部長 株式会社乃村巧藝社 中部支店クリエイティブ部 部長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
坂入 喜代枝	コーナン建設株式会社 執行役員 人事部長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
市岡 武	村本建設株式会社 取締役常務執行役員	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
壺山 和之	壺山建設株式会社 代表取締役	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
小島 章	株式会社 竹中土木大阪本店 技術・設計部 技術グループ リーダー部長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
富山 毅	株式会社 橋梁コンサルタント 西日本支社長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
榎村 吉高	株式会社 荒木造園設計 部長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③

村松 雄一郎	株式会社 オオバ 大阪支店 まちづくり部 設計課 課長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
森本 和真	株式会社 森本庭園 造園部	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
山下 裕貴	学校法人修成学園 理事長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
堤下 隆司	修成建設専門学校 校長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
見邨 佳朗	修成建設専門学校 副校長 建築CGデザイン学科科長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
谷川 博康	修成建設専門学校 学生相談室室長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
増田 和浩	修成建設専門学校 建築学科長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
鍵谷 啓太	修成建設専門学校 空間デザイン学科科長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
釜友 知世子	修成建設専門学校 専科2級建築士科科長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
樋下 昌俊	修成建設専門学校 住環境リノベーション学科科長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
野瀬 孝男	修成建設専門学校 土木工学科・建設エンジニア学科長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
明石 祥子	修成建設専門学校 ガーデンデザイン学科科長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
上杉 敬史	修成建設専門学校 進路係長	2020年4月1日～2021年3月31日 (1年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4) 教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(開催日時)

①年間開催回数：2回 ②開催時期：10月及び2月 ③平成25年度から計14回開催

第13回 2019年10月3日18:00～20:00

第14回 2020年2月5日18:00～20:30

(5) 教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

意見や提案等は、学科長、科目主任を中心に教育課程全体の効果やスケジュールを明確にしている。資格試験への受験機会を広げた。成功体験を積み重ねることで学習意欲を高め、さらに上位資格へのチャレンジへとスキルアップにつなげていく。就職活動時からミスマッチが起らないよう指導と共にインターンシップへの積極的な参加を促した。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針
 企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する知識、技術、技能を習得・向上するとともに、授業及び学生に対する指導力等の向上を目標としている。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容
 産・官・民との連携実習や近隣地域と連携した授業展開を実施し地域社会との共生を推進。ものづくり工程を順序立てた線で繋ぐ実習・演習を実施。業界関係団体や卒業生による造園技能士等の資格取得支援。企業によるインターンシップ受け入れと学修評価。企業連携で商品開発、作品を企業にプレゼンテーションし講評を受ける。官主催のイベント参加。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
造園施工Ⅰ	樹木・草花・地被類の植栽及び育成管理技術等について実習を通じて習得する	堺市都市緑化センター
造園施工Ⅱ	公園・庭園等の施設施工技術を実習により学ぶと共に施工管理の現場実務を習得する	株式会社銀シャリ上越屋
庭園デッサン	庭園・公園及び景観を構成する施設等の画法を演習により学びながら設計分析力や独創性を養う	四国化成工業株式会社
企業実習	企業に於いてリアルな施工を実習体験することにより卒業後の即戦能力を養う。	River&Grove
造園施工管理	施工管理の基本となる品質管理、工程管理、原価管理、安全管理についての理解	アイワホーム株式会社

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針
 「学校法人修成学園就業規則 第9章 第59条」の研修義務に基づき、企業等から講師を招き教員に対し実務に関する知識、技術、工法などについて校内で実施する教育研修会、各種団体等が開催する研修会・セミナーの活用、大学等の教育機関での研修・研究会等で、職業に関連した実務に関する知識、技術及び工法ならび教授法、指導力、キャリア支援教育等、向上のための研修会等に積極的に受講させる。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

期間	主催者	研修内容	対象	参加
6月26日	四国化成工業株式会社R&Dセンター	シコク景材(株)多度津工場見学	教員	3
6月26日	関西エクステリアフェア2019	関西エクステリアフェア2019	教員	5

② 指導力の修得・向上のための研修等

期間	主催者	研修内容	対象	参加
6月17日	大阪市企業人権推進協議会	人権啓発基礎講座	教員	1
8月6日	東京未来大学	教育現場におけるモチベーション対人コミュニケーションの理解と促進	教員	1
9月18日	大阪市企業人権推進協議会	令和元年度「経営層人権啓発講座」	教員	1
7月13日	学校法人修成学園	高等教育の無償化（修学支援新制度）について	教職員	48
9月21日	学校法人修成学園	外部講師による研修会「Z世代に向けた教育手法とは」	教職員	48
10月5日	全国工業専門学校協会	令和元年度「学生成果報告会」	教員	4
10月28日	キャリアサポートOfficeAOKI	教職員のための指導力向上講座	職員	2
10月30日	大阪府建築士事務所協会	ハラスメント問題の基本的理解と発生防止	教職員	2
10月28日	(一社)大阪府専修学校各種学校連合会	活力のあるクラスづくりのための指導向上講座	職員	2
11月3日	日本産業カウンセラー協会	事例に学ぶ発達障害の理解と対応	教員	1
11月2日	日本産業カウンセラー協会	メンタルヘルスの理解と対応	教員	1
12月7日	東京未来大学（文部科学省委託事業）	学校を巡る近年の状況と法令改正及び国の動向	教員	1
1月7日	修成建設専門学校	教員研修発表会	教員	40
1月29日	大阪市企業人権推進協議会	労務・人権啓発講座ブロックD	教員	1
2月18日	大阪市企業人権推進協議会	労務・人権啓発講座ブロックE	教員	1

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

主催：関西エクステリアフェア 内容：商品企画および意見交換会
 四国化成工業株式会社現場見学会
 西淀川区緑化美化推進会議

②指導力の修得・向上のための研修等

主催：修成建設専門学校 教員研修発表会

主催：学校法人修成学園 教職員研修会

主催：大阪府専修学校各種学校連合会 人権教育研修会

主催：大阪府専修学校各種学校連合会 新任教員研修会

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

委員会が、自己評価の結果に基づいて行う学校関係者評価の実施とその結果を公表することにより、適切に説明責任を果たすとともに、学校関係者等から理解と参画を得て、地域におけるステークホルダーと専修学校との連携協力による特色のある学校づくりを進める。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	基準1 教育理念・目標・育成人材像
(2) 学校運営	基準2 学校運営
(3) 教育活動	基準3 教育活動
(4) 学修成果	基準4 学修成果
(5) 学生支援	基準5 学生支援
(6) 教育環境	基準6 教育環境
(7) 学生の受入れ募集	基準7 学生の募集と受け入れ
(8) 財務	基準8 財務
(9) 法令等の遵守	基準9 法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	基準10 社会貢献
(11) 国際交流	基準10 社会貢献

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

・同窓会組織と連携を密にするため在校生、教職員が交流できる機会を増やすと共に、学園祭や防災訓練など学校行事を地域住民と一体となって実施すると共に、ガーデンデザイン学科では卒業生・在校生・教員の三者交流組織を構築し、資格取得支援やインターンシップの受け入れ、就活、実習・見学場所の確保、業界の動向・ニーズ等情報共有に努めた。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

2019年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
奥田 祐司	在校生の保護者	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	保護者
丸山 徹	卒業生の保護者	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	保護者
相賀 勝	元吹田市役所 理事	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	団体役員
藤田 晴樹	株式会社ジェイネット 代表取締役	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	企業等委員
山崎 充	浅川道路株式会社 代表取締役	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	企業等委員
大槻 憲章	おおさか緑と樹木の診断協会 理事	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	企業等委員
田中 文雄	大和田連合振興町会長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	地域役員
大和 正	学校法人興国学園 興國高等学校 教頭	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	教育関係者
苅野 起三子	修成学園 評議員	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	学園関係者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ 毎年2月下旬)

URL:<https://www.syusei.ac.jp/jyoho/index.html>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校の概要、目標及び計画や学科の教育をはじめとする様々な情報をホームページだけでなく学校案内、募集要項、求人パンフレット等の刊行物により積極的に公開することとする。

教育課程編成委員会学ならび校関係者評価委員会にも配布・公開し、理解と助言を求めている。教育の質保証、教育の見える化を図ることを基本方針とする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の概要、人材育成像、育成計画
(2) 各学科等の教育	学科の教育
(3) 教職員	組織及び教職員の状況
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育、実践的職業教育
(5) 様々な教育活動・教育環境	様々な教育活動・教育環境
(6) 学生の生活支援	学生の生活支援
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金・修学支援
(8) 学校の財務	学校の財務
(9) 学校評価	学校評価
(10) 国際連携の状況	様々な教育活動・教育環境
(11) その他	その他

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

URL:<https://www.syusei.ac.jp/jyoho/index.html>

授業科目等の概要

(工業専門課程 ガーデンデザイン学科) 2020年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			庭園史	日本及び外国の造園様式と変遷、時代背景	1	32	2	○			○		○		
○			造園植物	樹木の識別・特性・分類、造園植物の特性と用法、生産と流通	1	64	3	○	△		○	△	○		
○			植物管理	樹木・植物の訂正な育成・維持・抑制管理	1	64	3	○	△		○	△		○	○
○			造園材料	造園材料の種類、造園材料の特性・用途	1	64	4	○			○		○		
○			園芸学	園芸植物の特徴と分類、繁殖、栽培における基礎知識と応用知識	1	64	4	○			○		○		
○			ガーデンデザイン	庭園設計（和・洋庭園）の要素、抑制、設計手法、手書き図面の描き方	1	64	2	○	△		○		○		
○			エクステリアデザイン	エクステリア・外構の要素、特性、設計手法及び実務	2	64	2	○	△		△	○		○	
○			ランドスケープデザイン	多様な空間を対象としたランドスケープデザインの手法、技術	2	64	2	○	△		○			○	
○			環境緑化デザイン	環境に配慮した緑化造園計画、設計	2	64	2	○	△		○			○	
○			エコロジカルデザイン	自然生態を生かしたガーデンデザイン	2	32	1	○	△		○			○	
○			積算	図面、仕様書に基づいた工事費の算出を実行予算作成の考え方	1	32	1	○	△		○		○		
○			コンピュータ演習Ⅱ	造園におけるコンピュータの活用方法とCADによる製図	1	64	2		△	○	○		○		
○			CAD・CG演習	CAD、CGによる設計、施工図作成	1	128	4	○	△		○			○	

○		情報処理	造園・園芸関連等情報収集、処理、データ管理、書類作成	1	32	1		△	○	○		○		
○		造園設計Ⅰ	植栽工法及び維持管理、施工における基本知識	1	64	3		△	○	○		○		
○		造園設計Ⅱ	公園・庭園に関する構造物・施設、施工知識	2	64	3		△	○	○		○		
○		伝統技術	日本庭園の伝統施設と作庭技術、実用性と景観性	1	32	2	○			○		○		
○		造園法規	造園関係法令の種類、造園法令の成立過程、各法令の特性・概要	2	32	2	○			○				○
○		造園施工管理	安全管理・品質管理・工程管理・原価管理、施工計画書の作成	2	64	3	○	△		△	○		○	○
○		造園技能実習	庭園・公園の意匠及び施工要領、実務	2	64	2		△	○	△	○		○	○
○		環境リテラシー	造園を行う上で配慮すべき環境に関する知識と知識の醸成	1	32	2	○			○			○	
○		園芸実習	多種多様な園芸植物の植栽手法と育成、園芸技術の実践	1	64	2	△		○	△	○	○		
○		園芸福祉	園芸療法の歴史、園芸の効果、園芸を活用するうえでの計画手順と療法の実践	2	64	3	○	△		○	△	○		
○		造園施工特論	原論、材料、施工、土木工学、建築学他、施工管理、法規（造園施工管理技士受験対策）	2	64	4	○			○		○		
○		庭園探究	庭園調査、分析	2	64	3	○	△		○		○		
○		プレゼンテーション	デザイン意図の表現技術とその手法	2	64	2		△	○	○	△		○	
○		室内装飾	植物を使用した空間デザイン、グリーンコーディネート、その他装飾技術	2	32	2	○			△	○		○	○
○		卒業設計	設計コース・論文コース	2	64	4	○			○			○	

	○		樹木保護学	樹木の取扱い、環境や生態系の改善 (樹木医資格試験対策)	2	32	2	○			○			○
	○		庭園デッサン	画法、造園素材の表現法、造形デッサン	1	64	2	△		○	○		○	
	○		建設ビジネス学	技術者に必要なコミュニケーション、 ビジネス知識、社会常識、ビジネス文書作成	1	32	2	○			○			○
	○		芸術	造形芸術、表現芸術等様々な芸術の鑑賞、 色彩表現、作品制作	1	32	1	○	△		○		○	
	○		ワークショップⅠ	建設業やその他業種の企業から、技術者、 設計者等を招いた実務教育	1	32	1	○	△		△	○	○	
	○		ワークショップⅡ	企業や団体・機関などでインターンシップ等 経験する	2	32	1	○	△		△	○	○	
	○		土木工学	土木基礎、鉄筋、土木計画、土木施工	1	64	4	○			○		○	
	○		建築学	建築概論、建築と都市環境、建築と造園	2	32	2	○			○		○	
	○		コンピュータ演習Ⅰ	Word、Excel、パワーポイント等パソコンの 基本操作習得と各種資料・文書の作成	1	32	1	○	△		○		○	
	○		起業経営学	起業するための手順と方法	2	32	2	○			○			○
	○		農薬学	植物管理における病虫害の対処方法と農薬の 使用方法	1	32	2	○			○			○
	○		企業実習	概要、設計コース、施工コース・管理コース	2	40	1				○	○		○
		○	微分積分学Ⅰ	微分法、不定積分法	1	32	2	○			○			○
		○	微分積分学Ⅱ	微分方程式、定積分、大学編入対策講座	1	32	2	○			○			○
		○	応用数学Ⅰ	解析幾何学、代数学	2	32	2	○			○			○

		○	応用数学Ⅱ	方程式の解法、計算法、工学の応用演習	2	32	2	○			○		○
		○	物理学Ⅰ	質点と剛体の力学、変形体の力	1	32	2	○			○		○
		○	物理学Ⅱ	大学編入対策講座	1	32	2	○			○		○
		○	線形代数Ⅰ	マトリックス方程式、行列	2	32	2	○			○		○
		○	線形代数Ⅱ	工学への応用演習、大学編入対策講座	2	32	2	○			○		○
		○	工業英語Ⅰ	英文法、英文構造	1	32	2	○			○		○
		○	工業英語Ⅱ	英文法、英文構造の応用	1	32	2	○			○		○
		○	工業英語Ⅲ	工業英語文書、営業・契約文書の公式文書	2	32	2	○			○		○
合計				科目	2408単位時間(113単位)								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	3分の2以上の出席。進級に必要な単位の修得。卒業に必要な単位の修得。	1学年の学期区分
1学期の授業期間		16週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																											
修成建設専門学校	昭和51年4月1日	堤下隆司	〒555-0032 大阪府大阪市西淀川区大和田5-19-30 (電話) 06-6474-1644																											
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																											
学校法人修成学園	昭和51年4月1日	山下裕貴	〒555-0032 大阪府大阪市西淀川区大和田5-19-30 (電話) 06-6474-1644																											
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士																									
工業	工業専門課程	第2本科(夜)建築学科		平成6年文部省 告示第84号	なし																									
学科の目的	建築の仕事は設計(意匠、構造、設備)・施工・積算など多種多様な職種で成り立っており、必要な資格も多岐にわたる。そのどれが不足してもよい建築は生まれない。建築物を造るといことはすべての仕事を理解し、その一翼を担うことである。そのうえで新しい技術や課題に対応でき、実践的かつ専門的な知識および技術を有する創造的な人材が建築業界では求められている。本学科は実務に即応できる中堅建築技術者の養成を教育目的とし、それを達成するため、働きながらでも学べるように夜間講義を行ない、実務に即した基礎理論の上に実務主体教育、基礎教育を徹底し、応用力・総合力・判断力・表現力を持った技術者を養成する。																													
認定年月日	平成26年3月31日																													
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		講義	演習	実習																								
2年	昼間	1712時間	1454時間	434時間	352時間	時間																								
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内数)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																								
60人		75人	0人	11人	2人	13人																								
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日			成績評価	■成績表：有 ■成績評価の基準・方法 授業の出席、課題提出、平常・定期試験などから総合的に評価																									
長期休み	■学年始め：4月1日～4月8日 ■夏季：8月8日～8月16日(令和2年度のみ) ■冬季：12月23日～1月7日 ■学年末：3月26日～3月31日			卒業・進級条件	3分の2以上の出席。 進級に必要な単位の修得。 卒業に必要な単位の修得。																									
学修支援等	■クラス担任制：有 ■個別相談・指導等の対応 長期欠席者への指導等の対応 本人・保護者に電話または郵送にて指導			課外活動	■課外活動の種類 西淀川ものづくりまつり、修成祭、体育大会 建築倶楽部、町屋探偵団、土木研究会、ガーデニングクラブ、コンペ部、建築サイエンス部、設計塾																									
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(令和元年度卒業生) 鹿島建設(株)、大和ハウス工業(株)、住友不動産(株)、中野積算(株)、(株)住之江工芸、小松義博建築都市設計事務所			主な学修成果(資格・検定等) ※3	■サークル活動：有 ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和元年度卒業者に関する令和2年5月1日時点の情報)																									
	■就職指導内容 進路に関する就職、進学、大学編入などの進路支援活動を組織的な体制で行っている。キャリアデザインの相談、エントリーシートの書き方、個人面談や面接指導等におけるキャリアサポート支援は全学体制で望んでいる。				<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>福祉住環境コーディネーター検定2級</td> <td>③</td> <td>16</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>インテリアデザイン技能検定</td> <td>③</td> <td>6</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>建築施工管理技術検定学科試験2級</td> <td>③</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>カラーコーディネーター検定2級</td> <td>③</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>建築積算士補</td> <td>③</td> <td>26</td> <td>21</td> </tr> </tbody> </table>		資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	福祉住環境コーディネーター検定2級	③	16	6	インテリアデザイン技能検定	③	6	6	建築施工管理技術検定学科試験2級	③	2	1	カラーコーディネーター検定2級	③	1	1	建築積算士補	③	26	21
	資格・検定名	種別	受験者数		合格者数																									
福祉住環境コーディネーター検定2級	③	16	6																											
インテリアデザイン技能検定	③	6	6																											
建築施工管理技術検定学科試験2級	③	2	1																											
カラーコーディネーター検定2級	③	1	1																											
建築積算士補	③	26	21																											
■卒業者数：25人 ■就職希望者数：24人 ■就職者数：23人 ■就職率：95.8% ■卒業者に占める就職者の割合：92.0%			※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)																											
■その他 進学 専科2級建築士科：1人					■自由記述欄 ※建築施工管理技術検定2級学科試験は、国家資格・検定のうち、最終学年または高等学校で該当する専門教育を受けたものが、学科のみ受験可能である。																									
中途退学の現状	■中途退学者 8名 平成31年4月1日時点において、在学者64名(平成31年4月1日入学者を含む) 令和2年3月31日時点において、在学者56名(令和2年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 家庭の事情、進路変更、一身上の都合			■中退率	12.5%																									
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度：有 特待生制度(建設分野のコンクール等受賞、成績優秀者)、授業料減免制度(生活保護世帯、市町村民税所得割額が非課税、家計急変など) 創立110周年記念奨学金、修成建設専門学校緊急奨学金 ■専門実践教育訓練給付：給付対象																													

第三者による 学校評価	<p>■民間の評価機関等から第三者評価：有 評価団体：一般社団法人専門職高等教育質保証機構 受審年月：2018年2月 評価結果を掲載したホームページURL：http://qaphe.com/wp-content/uploads/2017techgraduatesyusei.pdf</p>
当該学科の ホームページ URL	<p>https://www.syusei.ac.jp/course/dept_architecture.html</p>

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1) 教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

企業等の要請を十分に生かしつつ職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成するため、教育課程の編成において、当該企業等との密接な連携により、より実践的な職業教育の質の確保のため組織的に取り組む。

(2) 教育課程編成委員会等の位置付け

委員会は、次の各号に掲げる事項を審議し、本校の職業教育の質の確保を目指す。

- (1) 就職先の業界における人材の専門性に関する動向の把握・分析
- (2) 国又は地域の産業振興の方向性の把握・分析
- (3) 新産業の成長に伴い新たに必要となる実務に関する知識・技術・技能など把握・分析
- (4) 本校の教育が、企業等の要請等を十分に生かした実践的かつ専門的な能力を育成する職業教育が実施できる教育課程の編成
- (5) その他、カリキュラムに関し必要なこと

委員会での審議結果を各学科長、副科長が中心となり教育課程に反映し、校長が決定する。

学校法人修成学園 組織図は、https://www.syusei.ac.jp/jyoho/organization_location.htmlを参照

(3) 教育課程編成委員会等の全委員の名簿

2020年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
田中 義久	大阪府建築士会副会長 株式会社 田中都市建築設計事務所 代表取締役社長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	①
辻 裕樹	大阪府建築士事務所協会 副会長 株式会社匠設計 代表取締役	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	①
井上 久実	日本建築家協会協会 近畿支部 支部長 井上久実設計室 代表	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	①
東 泰紀	公益社団法人 日本建築積算協会 関西支部	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	①
倉方 俊輔	修成建設専門学校教育顧問 大阪市立大学大学院工学研究科准教授	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	②
佐藤 栄一	一般社団法人 日本建築材料協会 常務理事・事務局長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	②
小松原 学	職業訓練法人 全国建設産業教育訓練協会 富士教育訓練センター 校長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	②
大上 哲男	公益財団法人 堺市公園協会 課長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	②
西濱 浩次	修成建設専門学校教育顧問 株式会社コンパス建築工房 代表取締役	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
鍵山 昌信	修成建設専門学校 建築学科教育アドバイザー ア・ティエス環境+建築設計事務所	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
中村 裕輔	一般社団法人日本賞環境デザイン協会 理事 関西支部長 株式会社乃村巧藝社 中部支店クリエイティブ部 部長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
坂入 喜代枝	コーナン建設株式会社 執行役員 人事部長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
市岡 武	村本建設株式会社 取締役常務執行役員	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
壺山 和之	壺山建設株式会社 代表取締役	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
小島 章	株式会社 竹中土木大阪本店 技術・設計部 技術グループ リーダー部長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
富山 毅	株式会社 橋梁コンサルタント 西日本支社長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
榎村 吉高	株式会社 荒木造園設計 部長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③

村松 雄一郎	株式会社 オオバ 大阪支店 まちづくり部 設計課 課長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
森本 和真	株式会社 森本庭園 造園部	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	③
山下 裕貴	学校法人修成学園 理事長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
堤下 隆司	修成建設専門学校 校長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
見邨 佳朗	修成建設専門学校 副校長 建築CGデザイン学科科長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
谷川 博康	修成建設専門学校 学生相談室室長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
増田 和浩	修成建設専門学校 建築学科長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
鍵谷 啓太	修成建設専門学校 空間デザイン学科科長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
釜友 知世子	修成建設専門学校 専科2級建築士科科長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
樋下 昌俊	修成建設専門学校 住環境リノベーション学科科長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
野瀬 孝男	修成建設専門学校 土木工学科・建設エンジニア学科長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
明石 祥子	修成建設専門学校 ガーデンデザイン学科科長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	
上杉 敬史	修成建設専門学校 進路係長	2020年4月1日～2021年3月31日 (1年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4) 教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(開催日時)

①年間開催回数：2回 ②開催時期：10月及び2月 ③平成25年度から計14回開催

第13回 2019年10月3日18:00～20:00

第14回 2020年2月5日18:00～20:30

(5) 教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

意見や提案等は、学科長、科目主任を中心に教育課程全体の効果やスケジュールを明確にしている。資格試験への受験機会を広げた。成功体験を積み重ねることで学習意欲を高め、さらに上位資格へのチャレンジへとスキルアップにつなげていく。就職活動時からミスマッチが起こらないよう指導と共にインターンシップへの積極的な参加を促した。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する知識、技術、技能を習得・向上するとともに、授業及び学生に対する指導力等の向上を目標としている。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

夜間に関しても昼間部に実施している科目会議に参加し、製図・設計・実験・積算など、設計事務所勤務の実務者・施工会社経歴者・実務者を中心に担当している。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
建築製図	製図の基礎、木造、木造3階建住宅、鉄骨造、鉄筋コンクリート造	F. T. A建築都市研究室
建築実験実習	セメント、骨材、コンクリート、鉄筋、木材、ボルト接合の材料力学性能	日本建築材料協会 他
建築積算学・同演習	建築工事に必要な直接工事費、間接工事費の算出方法	日本建築積算協会 他
建築設計製図	各科目で学習した知識を応用して、設計に必要な考察力及び、設計図書作成に必要な能力を養う	ミムラ建築計画工房
建築計画	設計に必要な、住居建築物の計画、特定建築物の計画	奥田建築設計事務所

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針

「学校法人修成学園就業規則 第9章 第59条」の研修義務に基づき、企業等から講師を招き教員に対し実務に関する知識、技術、工法などについて校内で実施する教育研修会、各種団体等が開催する研修会・セミナーの活用、大学等の教育機関での研修・研究会等で、職業に関連した実務に関する知識、技術及び工法ならび教授法、指導力、キャリア支援教育等、向上のための研修会等に積極的に受講させる。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

期間	主催者	研修内容	対象	参加
6月17日	(一社)日本建築材料協会	建築材料・住宅設備総合展 KENTEN2019	教員	2
6月22日	修成建設専門学校 GATUNクラブ	明治村研修見学会	教員	2
7月6日	大阪府左官工業組合	左官実技・学科講習会	教員	1
7月6日	公益社団法人 竹中大工道具館	研修見学	教員	1
7月30日	株式会社今西組	研修会と見学会	教員	3
12月14日	修成建設専門学校	建築家岡啓輔氏の自力建設を語る講演会	教員	6

② 指導力の修得・向上のための研修等

期間	主催者	研修内容	対象	参加
6月17日	大阪市企業人権推進協議会	人権啓発基礎講座	教員	1
8月6日	東京未来大学	教育現場におけるモチベーション 対人コミュニケーションの理解と促進	教員	1
9月18日	大阪市企業人権推進協議会	令和元年度「経営層人権啓発講座」	教員	1
7月13日	学校法人修成学園	高等教育の無償化（修学支援新制度）について	教職員	48
9月21日	学校法人修成学園	外部講師による研修会「Z世代に向けた教育手法とは」	教職員	48
10月5日	全国工業専門学校協会	令和元年度「学生成果報告会」	教員	4
10月28日	キャリアサポートOfficeAOKI	教職員のための指導力向上講座	職員	2
10月30日	大阪府建築士事務所協会	ハラスメント問題の基本的理解と発生防止	教職員	2
10月28日	(一社)大阪府専修学校各種学校連合会	活力のあるクラスづくりのための指導力向上講座	職員	2
11月3日	日本産業カウンセラー協会	事例に学ぶ発達障害の理解と対応	教員	1
11月2日	日本産業カウンセラー協会	メンタルヘルスの理解と対応	教員	1
12月7日	東京未来大学（文部科学省委託事業）	学校を巡る近年の状況と法令改正及び国の動向	教員	1
1月7日	修成建設専門学校	教員研修発表会	教員	40
1月29日	大阪市企業人権推進協議会	労務・人権啓発講座ブロックD	教員	1
2月18日	大阪市企業人権推進協議会	労務・人権啓発講座ブロックE	教員	1

(3) 研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

主催：全国専門学校建築養育連絡協議会 内容：総会・研修会
主催：一般社団法人大阪府建築士事務所協会 研修会・意見交換会
主催：公益社団法人大阪府建築士会 研修会・意見交換会

②指導力の修得・向上のための研修等

主催：修成建設専門学校 教員研修発表会
主催：学校法人修成学園 教職員研修会
主催：大阪府専修学校各種学校連合会 人権教育研修会
主催：大阪府専修学校各種学校連合会 新任教員研修会

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

委員会が、自己評価の結果に基づいて行う学校関係者評価の実施とその結果を公表することにより、適切に説明責任を果たすとともに、学校関係者等から理解と参画を得て、地域におけるステークホルダーと専修学校との連携協力による特色のある学校づくりを進める。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	基準1 教育理念・目標・育人人材像
(2) 学校運営	基準2 学校運営
(3) 教育活動	基準3 教育活動
(4) 学修成果	基準4 学修成果
(5) 学生支援	基準5 学生支援
(6) 教育環境	基準6 教育環境
(7) 学生の受入れ募集	基準7 学生の募集と受け入れ
(8) 財務	基準8 財務
(9) 法令等の遵守	基準9 法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	基準10 社会貢献
(11) 国際交流	基準10 社会貢献

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

卒業生・企業との意見交換を強化し、授業の内容強化を図っている。最近ではCAD・CGが企業でのレベルが高いため、授業内容を検討している。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

2019年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
奥田 祐司	在校生の保護者	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	保護者
丸山 徹	卒業生の保護者	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	保護者
相賀 勝	元吹田市役所 理事	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	団体役員
藤田 晴樹	株式会社ジェイネット 代表取締役	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	企業等委員
山崎 充	浅川道路株式会社 代表取締役	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	企業等委員
大槻 憲章	おおさか緑と樹木の診断協会 理事	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	企業等委員
田中 文雄	大和田連合振興町会長	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	地域役員
大和 正	学校法人興国学園 興國高等学校 教頭	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	教育関係者
荻野 起三子	修成学園 評議員	2019年4月1日～2021年3月31日 (2年)	学園関係者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ 毎年2月下旬)

URL:https://www.syusei.ac.jp/jyoho/index.html

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校の概要、目標及び計画や学科の教育をはじめとする様々な情報をホームページだけでなく学校案内、募集要項、求人パンフレット等の刊行物により積極的に公開することとする。

教育課程編成委員会学ならび校関係者評価委員会にも配布・公開し、理解と助言を求めている。教育の質保証、教育の見える化を図ることを基本方針とする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の概要、人材育成像、育成計画
(2) 各学科等の教育	学科の教育
(3) 教職員	組織及び教職員の状況
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育、実践的職業教育
(5) 様々な教育活動・教育環境	様々な教育活動・教育環境
(6) 学生の生活支援	学生の生活支援
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金・修学支援
(8) 学校の財務	学校の財務
(9) 学校評価	学校評価
(10) 国際連携の状況	様々な教育活動・教育環境
(11) その他	その他

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

URL:<https://www.syusei.ac.jp/jyoho/index.html>

授業科目等の概要

(工業専門課程 第2本科 建築学科) 2020年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			建築製図	製図の基礎、木造、鉄骨造、鉄筋コンクリート造	1	128	3			○	○		○	○	
○			設計製図	各種建築物の計画・設計	2	128	4		○		○		○	○	
○			建築計画学	設計に必要な、住居建築物の計画、特定建築物の計画	1	64	4	○			○		○	○	
○			建築意匠	建築意匠の基礎技能、建築意匠を形成するエレメント、建築透視図法	1	32	2	○			○		○		
○			建築歴史	建築の発生から発展、構造・様式などの歴史を通じて、学生が建築技術者として必要な常識を養う	1	32	2	○			○		○		
○			設計演習Ⅰ	木造を中心とした設計演習	1	64	3		○		○			○	
○			設計演習Ⅱ	鉄筋コンクリート、鉄骨造を中心とした設計演習	2	64	3		○		○		○		
○			建築環境工学	環境工学概要、日照と日射、室内熱環境、室内空気環境、室内照明環境、室内音環境	2	32	2	○			○		○		
○			建築設備工学	給排水設備、衛生設備、室内調和設備、電気設備	2	32	2	○			○		○		

○		建築構造力学Ⅰ	静定構造物の反力、応力	1	64	4	○			○		○		
○		建築構造力学Ⅱ	断面の性質、応力度、二級建築士対策	2	64	4	○			○		○		
○		建築一般構造学	各種構造の地震や台風等に対処する仕組、構成を学ぶ	1	64	4	○			○			○	
○		建築材料学	建築に使用する素材別材料、用途別材料	1	64	4	○			○				
○		建築実験実習	セメント、骨材、コンクリート、鉄筋、木材、ボルト接合の材料力学性能	1	32	1				○				○
○		建築施工	建築工事の請負制度、契約および工事全般	1	64	4	○							
○		建築積算学	建築工事に必要な直接工事費、間節工事費の算出方法	2	64	4	○			○		○		○
○		建築法規	建築基準法の単体・集団規定、制度規定、関連法規	2	64	4	○			○		○		
○		建築測量実習	距離測量、水準測量、平板測量、各種測量	2	32	1				○	○		○	
○		情報処理・同演習Ⅰ	CAD基礎、設計図書作成	1	32	1	○			○		○		
○		情報処理・同演習Ⅱ	CAD応用、検定対策	2	64	2	○			○		○		
○		福祉住環境	福祉住環境コーディネーター資格取得対策	1	32	2	○			○		○		

○		構造演習	各種構造の構造設計、耐震設計	2	32	2	○			○	○			
○		不動産	宅地建物取引士資格取得対策	1	64	4	○			○			○	
○		ワークショップⅠ	建設業に必要な事柄を企業や設計者を招き、実務教育を行う	1	64	2		○		○			○	
○		卒業設計	2年間の学習成果を製作する 構造コース・意匠設計コース・意匠コース・基本設計コース・積算コース・景観まちづくりコース	2	64	4	○			○			○	
	○	企業実習Ⅰ	企業や団体・機関など実際の職場で働く模擬体験をする	1	128	2				○			○	○
	○	企業実習Ⅱ	模擬体験から、正社員の登用を目指す	2	128	2				○			○	○
	○	建設概論	設計者・監理者として建設の基礎知識を学ぶ	1	64	4				○			○	
	○	ワークショップⅡ	企業や団体・機関などでインターンシップ等を経験する	2	64	2				○			○	
	○	インテリア	家具作りの基礎、内装の表現方法、インテリアプランナー試験対策	2	64	3				○			○	
	○	建築総論	二級建築士・2級建築施工管理技士養成講座	2	64	3				○			○	
		○ 微分積分学Ⅰ	微分法、不定積分法	1	32	2	○						○	
		○ 微分積分学Ⅱ	微分方程式、定積分、大学編入対策講座	1	32	2	○						○	

		○	応用数学Ⅰ	解析幾何学、代数学	2	32	2	○			○			○
		○	応用数学Ⅱ	方程式の解法、計算法、工学の応用演習	2	32	2	○			○			○
		○	物理学Ⅰ	質点と剛体の力学、変形体の力	1	32	2	○			○			○
		○	物理学Ⅱ	大学編入対策講座	1	32	2	○			○			○
		○	線形代数Ⅰ	マトリックス方程式、行列	2	32	2	○			○			○
		○	線形代数Ⅱ	工学への応用演習、大学編入対策講座	2	32	2	○			○			○
		○	工業英語Ⅰ	英文法、英文構造	1	32	2	○			○			○
		○	工業英語Ⅱ	英文法、英文構造の応用	1	32	2	○			○			○
		○	工業英語Ⅲ	工業英語文書、営業・契約文書の公式文書	2	32	2	○			○			○
合計				科目	2240単位時間(110単位)									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
3分の2以上の出席。進級に必要な単位の修得。卒業に必要な単位の修得。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	16週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。